


## 平成31年度 総務部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
総務部長 岡田 誠	<p>●使命 私たち総務部は、総合計画に掲げる「人と自然が織りなす幸せ実感都市 瀬戸内」の将来像に向かい、顧客満足度を第一に市民ニーズにこたえる市役所をめざすとともに、公共施設の再編を進め健全で効率的な財政運営を図ります。</p> <p>●基本方針 市民ニーズにこたえる市役所をめざして、全体の奉仕者としての自覚を持った市民に信頼される職員の育成に努めます。 また、市民が将来にわたって安心して暮らせるよう、行財政改革を更に推進することで、安定的な行財政運営を行います。</p>	所管課	総務課・契約管財課・財政課		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			33人	13人	46人
		一般会計	4,043,514 千円		
		特別会計	千円		
		計	4,043,514 千円		
(うち人件費)	( 250,913 千円)				


重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	<p>会計年度任用職員制度への対応</p> <p>会計年度任用職員制度の施行（令和2年4月）に向けて、制度の構築を図ります。 併せて制度構築に伴う関係例規の整備を行います。</p>	<p>国（総務省）、先進自治体などからの情報収集に努め、早期に新制度を確立し、スムーズに制度移行ができるよう事務処理を進めます。また、制度構築に伴い必要となる関係例規の制定、改正作業を適正に行います。</p>	<p>新制度での給料、休暇等の処遇について検討中。今後は、11月議会で関係条例の制定、改正案を提出できるよう事務処理を進めていきます。</p>	<p>10月30日に現在、臨時職員を雇用している所属向けに制度説明会を実施しました。 また、11月議会において、会計年度任用職員制度に係る条例を上程し、12月19日に可決いただきました。</p>	<p>条例以外の例規の整備を行うとともに、新たに「瀬戸内市会計年度任用職員 任用の手引き」を作成し職員への周知を図りました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	<p>働き方改革への取り組み</p> <p>働き方改革について、一事業所として、瀬戸内市役所においても取り組んでまいります。</p> <p>ワークライフバランスの実現に向けて業務の効率化を図り、時間外勤務の縮減に努めます。</p>	<p>瀬戸内市としての具体的な取組方針を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間外勤務の削減に向けた取り組み</li> <li>・職場環境の改善に向けた取り組み 等</li> </ul> <p>職員の負担軽減を図るため、宿日直の外部委託の検討を進めます。</p> <p>管理職のマネジメント能力向上のための研修を実施し、働き方に対する意識改革を進めます。</p>	<p>8月に管理職を対象に組織のマネジメント研修を実施し、管理職の働き方改革に向けた意識づけを行いました。</p> <p>引き続き本市の働き方改革の実現に向けて取り組んでいきます。</p>	<p>10月、11月で宿日直業務を外部委託している自治体に視察に行き、委託先、業務内容、費用等について具体的な話を聞くことができました。</p> <p>宿直室等の施設面を見学し外部委託への課題の確認もすることができました。</p>	<p>2月以降、働き方改革に向けた具体的な取り組みは行えていませんが、来年度以降も、管理職の意識改革に努めるとともに、宿日直業務の外部委託の検討を進めていきます。</p>
3	<p>公共施設再編計画の策定</p> <p>公共施設再編計画を見直しし、次期計画を策定します。</p>	<p>平成27年度から5年間取り組んだ再編計画の取り組み状況を検証し、平成32年度以降の次期計画を策定します。</p>	<p>各施設の現状と課題について所管する部局とのヒアリングを終え、策定に向け事務処理を進めています。</p>	<p>策定に向け事務処理を進めています。</p>	<p>引き続き計画内容の精査を行い、令和2年9月の策定に向け事務処理を進めます。</p>

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4	庁舎再編基本計画及び基本設計に基づく事業の推進	庁舎再編基本計画及び基本設計に基づき長船地域構想の実現に向け事業を推進します。	保健福祉部仮庁舎及び消防署長船分駐所の実施設計を行います。	実施設計業務の発注を終え委託事業者を決定し契約しています。令和2年3月の完了に向け作業を進めています	令和2年3月の完了に向け作業を進めています。あわせて、保健福祉部の移転先として本庁舎西棟1階への移転案を検討します。	保健福祉部の移転先として、仮庁舎新築案と本庁舎西棟改修案を比較検討する事務処理を進めています。消防署長船分駐所の実施設計は業務を完了し、令和2年度の工事発注を予定しています。
5	来庁者の利便性の確保を進め、サービスの向上を図る	本庁舎駐車場の整備、また本庁舎東側トイレの改修を行います。	平成30年度から工事を実施している本庁舎駐車場の整備及び本庁舎東側トイレ改修工事を第1四半期に完了し供用を開始します。	本庁舎駐車場整備工事は5月31日、本庁舎東側トイレ改修工事は6月21日にそれぞれ予定どおり完了しました。現在は施設の供用を開始し来庁者の皆様に利用いただいています。	今年度予定していた本庁舎関連整備工事は全て完了し、来庁者の皆様に利用いただいています。	来庁者の皆様にご利用いただいています。

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
6	安定的な財政運営の推進	<p>事務事業の見直しを行い、中期財政計画を策定します。</p> <p>歳入・歳出両面において最大限の努力を行い、優先順位付けをメリハリのある予算を編成することを目指します。</p> <p>市民が将来にわたって安心して暮らせるよう、引き続き健全な財政運営に努めるとともに、中期的財政見通しの改善を図ることを目指します。</p>	<p>10月中旬に中期財政計画を策定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度決算目標値 実質公債費比率:18%未満</li> <li>令和元年度経常収支比率 85%未満</li> <li>基金残高(財政調整基金・減債基金) : 40億円</li> </ul>	<p>適正化計画の協議が終了し、職員への周知にむけて、計画書作成中です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度決算目標値 実質公債費比率 : 9.4%</li> <li>令和元年度経常収支比率 86.3%</li> <li>基金残高(財政調整基金・減債基金) : 37億円</li> </ul>	<p>10月29日職員に財政運営適正化計画について説明を行い、HPにて公開しました。</p> <p>財政調整基金が無くなってしまふのは、昨年度計画より、2年延び、令和6年度となりました。</p>	<p>令和元年度決算目標値基金残高見込み(財政調整基金・減債基金) 47億円</p>
7	行政改革のあり方及び位置づけ	<p>平成27年3月に策定した行政改革プランは交付税削減に対応するために、予算削減により財政健全化を図るものであり、概ね目的は達成されました。</p> <p>これからの行政改革において、この手法では、予算減額のみ主観があるため、総合的な行政改革がみえません。そのため、将来を見据えた行政改革のあり方を検討します。</p>	<p>行政改革推進委員会を通じて、今後の行政改革のあり方を検討します。</p>	<p>未実施</p> <p>11月中の委員会の開始にむけて準備中です。</p>	<p>11月21日行政改革推進委員会を開催</p> <p>本年度作成した中期財政計画について説明をしたあと、今後の行政改革について、税収アップ、人口増加、観光文化、企業誘致などの意見をいただきました。</p>	<p>12月以降、具体的な検討は行えていませんが、来年度以降も引き続き今後の行政改革のあり方を検討していきます。</p>

## 平成31年度 危機管理部 経営計画書


職・氏名	経営方針	経営資源			
危機管理部長 八塔 圭介  	<p><b>●使命</b>                      私たち危機管理部は、総合計画に掲げる「人と自然が織りなすしあわせ実感都市瀬戸内」の将来像に向かい、市民が安全で安心できる暮らしを実現するため、行政、市民、地域が一体となった取り組みを行い、市民の防災意識、交通安全意識、防犯意識の向上を図ります。</p> <p><b>●基本方針</b></p> <p>① 防災意識の高いまちを目指して市民の防災意識の高揚と啓発、職員                      の防災・災害対応能力の向上に努めます。</p> <p>② 交通事故ゼロのまちを目指して交通安全推進団体と連携し、交通安                      全の教育や教室、啓発活動を実施します。</p> <p>③ 空家等に関する諸問題に対処するため、瀬戸内市空家等対策計画に                      基づき周囲に悪影響を及ぼしている空家等への指導を行います。</p> <p>④ 災害に対し、新たな情報伝達手段のシステムを構築します。</p>	所管課 危機管理課			
		人 員	正職員 6 人	臨時職員 1 人	合計 7 人
		一般会計	85,386 千円		
		特別会計	千円		
		計	85,386 千円		
		(うち人件費)	( 36,254 千円)		

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	市民の防災意識の啓発と自主防災組織の育成  市民の防災意識の高揚と自主防災組織の結成促進を図るため、出前講座を開催します。  自主防災組織を牽引するための防災リーダーの養成講座やフォローアップ研修を通じて地域防災力の活動創出を図ります。  出前講座や防災リーダー養成講座等を通して、地域の自主的な防災活動を積極的に推進する認定自主防災組織を増やしていきます。	出前講座 15回 (平成30年度 18回)  防災リーダー養成講座の実施 100名 (平成30年度 96名) 防災リーダーフォローアップ研修の開催 4回 延べ120名 (平成30年度 延べ129名) 市内自主防災組織 179団体 うち組織認定 60団体 (平成30年度末 45団体)	出前講座 13回  12月実施予定 8/4 1回目実施 34名  組織認定 47団体	出前講座 18回  12/7実施 39名 1/22 2回目実施 37名  組織認定 48団体	出前講座 19回  同左 2/5 3回目 29名 2/17 4回目 26名  組織認定 49団体

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
	自主防災組織が開設する避難所届出制度の導入及び啓発をします。	自主防災組織が自主的に開設するコミュニティー等の避難所を届け出てもらうとともにその避難所に備蓄品を配備。また、広報紙等で周知。	要綱制定済 広報紙等周知予定	市ホームページに掲載 出前講座等で制度の紹介を実施	市ホームページに啓発を掲載中  登録 3件
2	職員の防災・災害対応能力の向上  市の災害対策体制や、各種マニュアル等の見直しを進め、防災等危機管理対策の強化を図ります。	災害時における職員の危機管理に対する日常的な自覚や災害対応能力の向上を図るため、職員研修を実施します。  職員を対象とした災害時における危機管理研修の実施  教職員を対象とした学校における防災教育研修の実施  水害を想定した市総合防災訓練の実施  土砂災害ハザードマップの更新	8/27 主事・主任・主査級を対象に実施 37名 8/22 災害対応研修実施（教育委員会主催・危機管理課講師） 9/8 実施 約600名  業者選定中	同左  同左  同左  業者選定済。防災ハザードマップ（土砂災害を含む）作成中	同左  同左  同左  完成、納品 令和2年5月号広報に折込予定
3	交通安全教育・教室及び啓発	正しい交通ルールとマナーを理解し、安全な行動がとれるよう幼児期からの交通安全教育を行います。 また、交通事故防止を図るため、警察署、交通安全推進団体、交通安全ボランティア等と連携し交通安全教室や啓発活動を実施します。  市内人身事故発生件数 平成31年60件以内 (平成30年1～12月 70件)	交通安全教育（教室） (保育園・幼稚園 30回) 交通安全教室 (高齢者・一般 5回) 交通安全啓発 (春・秋交通安全運動15回) 交通安全フェスタ開催 (9/15 500名)  発生件数 25件 (平成31年1月～9月)	11回実施  高齢者教室実施 2回(5/19、9/29) 春8回、秋6回計14回  9/15ゆめぴア長船で実施 来場約300名  発生件数 32件 (平成31年1月～令和元年12月)	26回実施  同左  同左  同左

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4	空家等の対策の推進  空家等に関する施策の実施及び空家等除去に対する支援を検討します。  利活用を含めた空家等の適正管理の普及・啓発に努めます。	庁内連絡会議及び認定審査会を開催し、周囲に悪影響を及ぼしている特定空家等に対する措置等の検討  空家等除去支援制度の検討  空家等の利活用に関する情報提供及び適正な管理を行うことの重要性や周辺地域にもたらす諸問題について広報紙等で周知	6/12 認定審査会開催  要綱作成中  広報紙7月号で周知	11/20 庁内連絡会議開催  同左  同左	3/23 空家等対策協議会開催  要綱策定 令和2年度制度開始  固定資産税納入通知書発送時(R2年4月)に啓発チラシ同封予定
5	災害情報伝達手段の多重化・多様化の検討	市の防災行政無線は設置から10年以上経過し、設備更新を検討する時期が来ています。単に設備の更新を検討するのではなく、災害情報伝達手段の多重化・多様化を図り、適切に災害情報を伝達できるよう新たな災害情報伝達システムについて検討します。	瀬戸内市にとって効果的な災害情報伝達手段を探り、方針を決定  8月入札、業者決定 9月契約 基本構想作成中	11/14、1/30 瀬戸内市防災情報伝達システム基本構想等策定委員会開催 基本構想(案)作成済	基本構想を策定し、携帯電話通信網を活用したシステムを整備する方針に決定。個人が所有する携帯電話へ直接伝えることで、災害情報の迅速かつ正確な伝達を図る。 基本計画作成済

## 平成31年度 総合政策部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
総合政策部長 松尾 秀明  	<p><b>●使命</b> 総合政策部は、企画・政策を総合調整する部として、市民の幸福度を高めるため、高度化・多様化する行政ニーズを集約し、共有しながら、課題を市政に反映します。</p> <p>また、市民意識を把握し、市民と行政との双方向による情報と意識の共有化を進め、市民満足度の向上に努めます。</p> <p><b>●基本方針</b> ①透明で開かれた市役所をめざして、市政の情報と市民目線の広聴広報に取り組みます。 ②定住促進策など「地方創生」関連施策を推進します。 ③市民活動のための支援策を調査研究し、協働のまちづくりを推進します。</p>	<b>所管課</b>	秘書広報課、企画振興課		
		<b>人員</b>	<b>正職員</b>	<b>臨時職員</b>	<b>合計</b>
			17人	2人	19人
		<b>一般会計</b>	732,298 千円		
		<b>特別会計</b>	29,407 千円		
		<b>計</b>	761,705 千円		
		<b>(うち人件費)</b>	(106,760 千円)		

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	山鳥毛里帰りプロジェクトの推進  ・ふるさと納税を活用したクラウドファンディングを推進し、寄附の募集を行います。	・ふるさと納税を活用したクラウドファンディングを推進し、寄附を集めます。 ≪目標額≫(経費差引後) 目標額達成まで 3億7,041万5,551円	クラウドファンディング実施中。  ≪目標額≫ 目標額達成まで 3億2,888万2,565円	クラウドファンディング実施中。  ≪目標額≫ 6億円→5億1,309万円に変更。1月26日をもって目標額達成。  1月末(経費差引後) +6,873万8,924円	H30 寄附金総額 3億2,784万4,468円 R1 寄附金総額 5億5,394万7,928円 <b>【2カ年合計】</b> 8億8,179万2,396円 集まり、目標金額を達成。  3月末(経費差引後) +1億1,903万7,396円 (未振込分や経費支払分により変動)




重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・歳入確保と市のイメージアップのため、お礼の品の開発・拡充をします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな返礼品として電子商品券を加える準備をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月から電子商品券を追加。その他、玄米30kg、牡蠣や果物（もも・ブドウ）の事業者・品数・早期受付など追加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな返礼品として、電子商品券、果物の早期受付を開始した。今後、返礼品の開発・拡充を推進していきます。</li> </ul>
2	<p>「広報せとうち」による重点施策の情報発信と市外への魅力の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市政に関心がある市民を増やすため、市の重点施策をテーマにした広報紙特集号を発行します。</li> <li>・マスコットキャラクター（セットちゃん）を広く発信することにより「瀬戸内市」の知名度の向上を図ります。</li> <li>SNSをシティプロモーションツールとして活用し、セットちゃん情報をはじめ市の魅力を積極的に発信します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の重点施策等をテーマにした広報紙特集号の発行（年2回）</li> <li>・企画・取材・編集等の作業を担う広報編集員の採用について研究し、メリット・デメリットを見極めます。</li> <li>・幼稚園・保育園や各種イベントへの参加（年30回以上）</li> <li>・投稿数の増加（現在月1回⇒週3回以上）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙7月号に「山鳥毛」里帰りプロジェクトの特集。</li> <li>・他の自治体等の情報を参考に、補正予算を議会に上程する。</li> <li>・4月～9月まで11回参加</li> <li>・4月～9月まで月平均で週1回以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙1月号に幼児教育・保育の無償化の特集。</li> <li>・広聴広報支援（広報作成補助）業務について、公募型プロポーザルを実施。</li> <li>・4月～1月まで18回参加</li> <li>・4月～1月まで6月中旬より山鳥毛里帰りプロジェクトのSNSを週5回投稿。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙7月と1月に特集を実施。</li> <li>・広聴広報支援（広報作成補助）を委託。レイアウトを作成。</li> <li>・4月～3月まで19回参加</li> <li>・山鳥毛里帰りプロジェクトのSNSを週5回投稿。フォロワー数727⇒2,885(4倍)</li> </ul>

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
3	国内・国際交流事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流員の配置による国際交流と国際理解の推進に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験学習を通じて、多文化共生のまちづくりを進めます。（防災についての研修会を開催）</li> <li>日常生活に必要な情報をまとめた外国人向けパンフレット等の多言語化を3月までに進めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>8/24～8/25にカリヨンハウスにて防災研修を実施した。</li> <li>パンフレット等を準備している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2/23に市内在勤の外国人向け市内を巡るバスツアーを実施予定。</li> <li>1月上旬に国際交流員が退任したため、多言語のパンフレット作成は延期。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災研修とバスツアーを実施し、異文化への理解が深まった。</li> <li>新型コロナウイルスについて、やさしい日本語・多言語版をホームページに掲載。</li> </ul>
4	地方創生の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少に歯止めをかけるため、移住、定住人口の増加につなげる取組を進めます。</li> <li>総合戦略最終年度に当たり、有識者会議でのKPI検証に向け、達成状況の可視化を図ります。</li> <li>現戦略の検証結果を踏まえ、次期総合戦略を策定します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市移住交流促進協議会（とくらす）と連携し、移住フェア等を通じた移住者支援に取り組む。（フェア会場からの移住：5組）</li> <li>有識者会議を7月中に開催し、KPI達成状況を示すとともに、市HPで公開する。</li> <li>2019年度内に新戦略を策定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェア参加、東京2回、名古屋1回、大阪2回（フェア会場からの移住：1組2人）</li> <li>有識者会議を7月10日に開催し、概要をHPに掲載した。</li> <li>次期総合戦略策定の基礎資料としてアンケート実施。8月送付、9月回収。現在集計中。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェア参加、東京5回、名古屋1回、大阪4回、岡山1回（フェア会場からの移住：1組2人）、個別案内ツアーは16組受け入れた。</li> <li>有識者会議で確認されたKPIに対する意見等を次期戦略の参考とした。</li> <li>次期戦略策定に向け、若手職員ワークショップ、市民ワークショップを開催した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェア参加、東京6回、名古屋1回、大阪5回、岡山1回（フェア会場からの移住：2組4人）、個別案内ツアーは27組（延べ33組）受け入れた。</li> <li>3月中旬までに「第2期瀬戸内市太陽のまち創生総合戦略」の策定を終え、市HPで公表した。</li> </ul>

	重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
5	公共交通の充実による市民の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>市公共交通網形成計画に基づき、新規市営バス路線の導入による交通不便地域の解消を進めます。</li> <li>既存市営バス路線の利便性向上を進めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規3路線の11月導入により、公共交通不便地域の人口割合をH30、7,821人、20.7%から2,825人、7.5%まで改善する。</li> <li>新路線導入に伴い、各種交通網の乗り継ぎに配慮したダイヤ改正や利用の手引きの刷新を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規3路線は車両の調達に時間を要し、令和2年1月からの運行予定となった。</li> <li>既存の西脇線は路線変更による利便性向上を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大富南北、長船北の3路線を1月20日から運行開始した。邑久高美術部の協力で同路線の車両ラッピングを行った。</li> <li>新規3路線を含む全路線のダイヤを掲載した市営バスマップを配布した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規3路線の導入等により公共交通不便地域の人口割合を2,648人、7.0%まで改善した。</li> <li>市内の全ての公共交通網を記載した新年度版公共交通マップを官民協働で発行した。</li> </ul>
6	持続可能な地域づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに立ち上げる「まちづくり協議会制度」のモデル事業を通じて持続的な地域の形成を進めます。</li> <li>地域自治組織や市民活動団体等への各種補助金交付事務の効率化を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域への説明会の開催等を通じて理解を深め、年度内にモデル地区3地区の導入を目指す。</li> <li>市民活動応援補助金、協働推進事業補助金の手引き、様式の改善等を行い、団体及び市の事務負担軽減を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>邑久地区、鹿忍地区で制度導入に向けた取組を行っているが、モデル地区への移行は困難な状況。</li> <li>領収書等の提出の際、分類、貼付に利用できる様子を配布した。庁内各部署のテーマ設定の効率化を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鹿忍地区の新たな自治組織構築に向けた地元会議に出席し、規約、役員構成等に関する協議を行った。</li> <li>協働提案事業補助金の制度改正を行い、要望の多かった2か年度の事業提案を可とした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>モデル地区の導入は不可能だったが、鹿忍、邑久地区の組織作りに関与し、少しずつ前進している。</li> <li>2月～3月で補助金事業の審査を行い、次年度採択事業を決定した。</li> </ul>

	重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
7	各種統計の効率的かつ確実な実施と集計結果の利活用を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統計調査員確保事務の効率化(外注等)により、調査に伴う市民の負担軽減につなげます。</li> <li>・庁内各部署で実施する統計、アンケート等の結果を市民が利用することができるよう、結果の集約、オープンデータ化を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林業センサス調査員選任時の業務委託の導入(1 1 月までに)</li> <li>・統計、アンケート等の調査手順、集計方法等の統一化を行う。(年度内)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討の結果、委託によらず、これまでどおりの方法で選任した。</li> <li>・データの統一化は、実施に向け制度を検討中。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査員 7 4 人に説明会を行い、滞りなく調査準備ができた。</li> <li>・オープンデータ化は未着手であった。引き続き検討を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R2 年度の国勢調査に向け、調査員の確保につながった。</li> <li>・オープンデータは引き続き検討することとする。</li> </ul>

## 平成31年度 市民部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
市民部長 尾副 幸文	<p><b>●使命</b> 私たち市民部は、総合計画に掲げる「人と自然が織りなす 幸せ実感都市 瀬戸内」を目指して、市民の皆さんが健やかでいきいきと暮らしていけるよう生活を支援します。</p> <p><b>●基本方針</b> 市民部の職員ひとり一人が、市民部は市役所の顔である意識を持ち、多様な市民ニーズの的確な把握に努め、常に市民の皆さんの立場に立ち、市民の皆さんに満足していただける迅速かつ正確で質の高いサービスを提供します。</p>	所管課	市民課、税務課、収納推進課、牛窓支所、長船支所、裳掛出張所		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			57人	12人	69人
		一般会計	1,716,299 千円		
		特別会計	4,894,342 千円		
		計	6,610,641 千円		
(うち人件費)	( 365,967 千円)				

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
1	市民のニーズに配慮した窓口サービスに努めます	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合窓口・支所・出張所実施業務を再確認し、効率化に向けた見直しを行います。</li> <li>市民目線に立った親切丁寧な対応を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合窓口及び支所出張所の事務分掌を明確にするために、関係課と協議し、業務の効率化を図ります。</li> <li>人員配置等を再確認し、他市の事例を参考に、市民目線に立った対応について検討します。</li> </ul>	<p>業務の効率化に向けて、関係課と協議する内容についての洗い出しを行っています。</p> <p>現在の窓口で行っている事務について、より分かりやすくなるような資料を作成中です。</p>	<p>窓口事務で行う業務について関係課と協議し、事務の見直しを行っています。</p> <p>亡くなられた方の手続きについて、分かりやすいリーフレットを作成し、配布しています。</p>	<p>窓口事務で行う業務をはじめ関係課と協議し、事務の見直しを行いました。</p> <p>亡くなられた方の手続きについて、リーフレットの配布のみでなく、HPにも掲載しました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイナンバーカードの利便性を周知し、取得手続きの支援を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントの会場等で、マイナンバーカードの利便性をPRし、取得手続きの方法等の周知を行います。</li> </ul>	<p>邑久郵便局や喜之助フェスティバルで啓発活動を行い、カードの利便性や市役所でマイナポータルでの申請を受け付けていることをPRしました。</p>	<p>成人式で啓発グッズの配布を行いました。確定申告会場での出張申請を計画しており、その準備を進めています。また2月から月1回の延長窓口で、マイナンバーカードの交付を予約制で行うことにしました。</p>	<p>確定申告会場出張申請を行いました。また、月1回の延長窓口で、マイナンバーカードの交付を予約制で開始しました。(2～3月予約受付数2件)</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>国民健康保険加入者の健康づくりを支援します。</li> <li>国民健康保険制度の運営と国民年金制度を周知します。</li> <li>重症化予防の重要性に関する啓発をし、健診の推進について取り組みます。</li> <li>未受診者に対して健診の重要性を伝えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診会場、年14回・22会場パンフレット等を配布し、周知を図ります。</li> <li>ホームページ等による広報をします。</li> <li>糖尿病との関連性の高い歯周病予防のため、歯科検診の重要性、歯周病の危険性をホームページ等で周知し、健診を行います。</li> <li>未受診者訪問で、健診の重要性を説明するパンフレットを配布し、受診者の増加を目指します。</li> </ul>	<p>6、7月の集団健診でパンフレット等の配布をしました。</p> <p>他市のHPを参考にし、国保に関するページの見直しを行いました。</p> <p>集団健診等で歯と口に関するアンケートを回収し、現在集計中です。</p> <p>未受診者への受診勧奨を10月に発送するための準備をしています。</p>	<p>9月実施の休日健診の会場パンフレット等の配布をしました。</p> <p>国保年金に関するHPの見直しを行い制度の周知を行いました。</p> <p>対象者を抽出し、案内及び受診券を発送しました。</p> <p>10月に未受診者へ勧奨状、1月に未受診者の健診の案内を送付しました。</p>	<p>2月実施のひろいの健診会場パンフレット等の配布をしました。</p> <p>国保年金に関するHPの見直しを行いました。</p> <p>3月末までを受診期間として歯周病検診を実施しました。</p> <p>2月にひろいの健診として未受診者77名に対し集団検診を実施しました。</p>

重点項目		内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
		・資格点検及び内容点検を実施し、過誤調整を行います。	・医療費適正化の為に、資格点検及び内容点検を実施し、再審査請求枚数を昨年度より3割増とします。	再審査請求件数については、現在、昨年度より3割増を達成しています。	1月末現在、昨年度より3割増を達成しています。	目標枚数を上回り、昨年度より7割超増を達成しました。 (前年度1,650枚→2,959枚)
3	単県医療（小児医療・心身障害者医療・心身障害者医療・ひとり親家庭等医療）制度の適正な使用について周知します。	・単県医療（小児医療・心身障害者医療・ひとり親家庭等医療）資格証の制度の周知を図ります。	・保健福祉部とも情報共有を図り、ホームページや窓口等での制度の周知を図ります。	制度の概要をまとめたチラシを作成しました。また、保健福祉部にも提供し、情報共有を図りました。	単県医療のホームページを分かりやすくするために、見直しを行いました。	保健福祉部と協力して、「ひとり親のしおり」に、ひとり親家庭等医療費公費負担制度の頁を盛り込み、窓口で該当する方に説明しました。
4	人権意識の醸成に努めます。	地方法務局、教育委員会のほか各種団体と連携した人権啓発活動を実施します。	・人権週間における活動支援及び啓発事業（年1回）  ・なやみごと相談の支援（年36回）  ・市内小学校での人権の花運動贈呈式及びスポーツ人権ふれあい教室の共催（各1回）	人権週間に限らず、人権擁護委員の啓発活動に積極的に参加し、支援しています。（3回参加済）  牛窓会場で6回、邑久会場で5回、長船会場で6回の合計17回のなやみごと相談を実施しました。（9月台風により邑久会場中止）  4/23（火）牛窓東小学校にて人権の花運動贈呈式を実施しました。また、6/26（水）牛窓東小学校にてスポーツ人権ふれあい教室を実施しました。	12月人権週間にてイベントおよび啓発活動を人権擁護委員と実施しました。  牛窓会場10回、邑久会場9回、長船会場10回の合計29回のなやみごと相談を実施しました。  12/4（水）牛窓東小学校にて人権の花運動感謝状贈呈式を実施しました。	関係各所と連携し、各種の人権啓発を行い、人権意識の醸成を図りました。（年6回実施済）  牛窓会場11回、邑久会場10回、長船会場11回の合計32回のなやみごと相談を実施しました。（3月はコロナ感染拡大の影響により中止）  アンケート結果より、子ども達の人権への理解が深まったことが検証できました。（年3回実施済）


重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第2次瀬戸内市男女共同参画基本計画」の進捗管理を行い、必要に応じて施策の担当課にヒアリング等をする。</li> <li>・啓発パネル展（年1回）</li> <li>・市民向け講座「せとうちゼミナール」を年3回（防災、コミュニケーション術、男の介護）実施する。 参加目標人数 各講座10人</li> <li>・DV防止啓発活動(年1回)</li> </ul>	<p>「第2次瀬戸内市男女共同参画基本計画」の進捗管理のため、施策の担当課に取組内容についてヒアリングを実施しました。</p> <p>6/21（金）～7/5（金）の間、図書館にて「男女共同参画パネル展」を実施しました。</p> <p>市民向け講座「せとうちゼミナール」3回シリーズのうち、第1回「多様性に対応した防災・減災～災害関連死をなくすために～」を実施しました。 （参加者29名）</p> <p>パープルリボンツリー展示による啓発を11月に実施する予定です。</p>	<p>「第2次瀬戸内市男女共同参画基本計画」の進捗管理のため、施策の担当課に取組実施状況についてヒアリングを実施しました。</p> <p>「男女共同参画パネル展」をHPにも掲載し、啓発をおこないました。</p> <p>10/8（水）「介護は誰がする？～介護と仕事の両立・体験談を踏まえて～」を実施しました。（参加者18名） 11/8（金）「自分がかわれば周りも変わる～生活に役立つアンガーマネジメント講座～」を実施しました。（参加者20名）</p> <p>11月に本庁、ゆめトピア長船にてパープルリボンツリー展示による啓発と、市内で街頭啓発を実施しました。</p>	<p>「第2次瀬戸内市男女共同参画基本計画」施策担当課へのヒアリング実施により、進捗状況が詳細に把握できました。</p> <p>パネル展のみならず、男女共同参画に関するパンフレット等を図書館やゆめトピア等にも設置し啓発を行いました。</p> <p>せとうちゼミナール全3回の実施で、計67名の参加者がありました。</p> <p>街頭啓発を行う等、新たな活動をすることで、幅広い人にDVについて周知することができました。 啓発グッズ配布数：550個</p>



重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
	<p>NPO法人ハンセン病療養所世界遺産登録推進協議会と連携し、啓発事業をすすめます。</p> <p>ハンセン病問題を後世に語り継ぐための記録物の保存 (長島両園入所者の語り映像、長島愛生園「神谷書庫」資料等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ウィズせとうち さざなみ」等の市民団体への情報提供及び活動支援または共催(年3回)</li> <li>・啓発パネル展(年1回)</li> <li>・各種イベントでの啓発パンフレットの配布</li> <li>・クラウドファンディングの実施(5/9から12/31) 目標寄附金額：300万円</li> </ul>	<p>商工会に事業者向けの啓発チラシやパンフレットを持参し情報提供を行いました。(1回)</p> <p>4/17(水)～5/19(日)の間、図書館にて「十坪住宅パネル展」を実施しました。</p> <p>市内各施設へ啓発パンフレットを設置しました。</p> <p>GCF「後世に伝えたいハンセン病の歴史」を実施しています。(9月末寄附額888千円)</p>	<p>イベント開催のチラシを公共施設にも掲示し、情報提供に努めました。</p> <p>「十坪住宅パネル展」の様子をHPや新聞に掲載し、啓発を行いました。</p> <p>イベント等で啓発パンフレットを配布しました。</p> <p>12月末までにクラウドファンディングを行い、目標寄附額の300万円を達成しました。</p>	<p>啓発チラシを関係機関に配布する等、幅広く情報提供を行いました。</p> <p>様々な機会をとらえて啓発パンフレットを配布し、幅広く啓発を行いました。</p> <p>様々な機会をとらえて啓発パンフレットを配布し、幅広く啓発を行いました 小冊子配布数：133ヶ所・266冊</p> <p>クラウドファンディングの目標額を達成することができ、ハンセン病問題を多くの人に知ってもらいきっかけにもなりました。 実績額 3,365,330円</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
5	<p>税の公平・公正をより一層推進します。</p> <p>分かりやすい税務広報に努めます。 正確な課税資料による、適正な課税と業務効率の向上を図ります。</p>	<p>【市民税係】 住民税の賦課課税資料の厳正なチェックを実施し、適正な課税を行います。</p> <p>【資産税係】 家屋・償却の固定資産等、課税客体の把握を進め、適正な課税を行います。</p>	<p>【市民税係】 毎月税務署へ課税資料の確認に出向いています。</p> <p>【資産税係】 償却資産を把握するため、税務署へ確認に出向きました。</p>	<p>【市民税係】 引き続き、毎月税務署へ課税資料の確認に出向いています。</p> <p>【資産税係】 新築家屋に係る評価は、概ね完了しました。償却資産については、税務署での確認資料に基づき適正課税を行いました。</p>	<p>【市民税係】 引き続き、毎月税務署へ課税資料の確認に出向いています。また、新年度課税に向けて、確定申告会場を設け、申告相談を実施しました。</p> <p>【資産税係】 新築家屋、土地異動及び償却資産申告の入力はほぼ完了し、新年度課税に向けて最終確認し、適正な課税を行いました。</p>
6	<p>税等収納率の向上に努めます。</p> <p>滞納者の生活実態や財産を正確に把握し、適正な滞納整理を進めます。 一般税（現年分）収納率の実績 平成29年3月末 97.05% 平成30年3月末 97.25% 平成31年3月末 97.45%</p> <p>収納率向上のため、搜索実施や合同公売会への参加等を行います。</p>	<p>平成30年3月末収納率 一般税（現年分）97.45%以上の収納達成を目指します。 また、適正な滞納整理を進めます。</p> <p>搜索の実施 搜索件数10件以上</p> <p>合同公売会への参加 参加回数1回以上</p>	<p>9月末現在収納率 一般税 現年 61.28% 滞繰 15.05%</p> <p>搜索件数2件実施</p>	<p>1月末現在収納率は以下のとおりです。 一般税 現年 82.91% （前年度比-0.71%） 滞繰 21.00% （前年度比-0.89%）</p> <p>搜索実施件数 7件 近隣自治体との連携手法を検討中です。 合同公売会は、日生町で12月1日実施しました。インターネット公売を1回（1品目）実施しました。</p>	<p>3月末現在の収納率 一般税 現年 97.92% （前年度比+1.00%） 滞納繰越 23.45% （前年度比-0.97%）</p> <p>搜索件数は8件でした。今後は、近隣との連携手法を検討します。</p>

## 平成31年度 環境部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
環境部長 奥田 幸一	<p><b>●使命</b>                      私たち環境部は、総合計画に掲げる「人と地球にやさしい環境に配慮した美しいまち」実現のため、市民、事業者と行政の協働による、ごみ減量化の推進と、人と地球にやさしい環境負荷の少ない循環型社会を目指します。あわせて、生活関係施設整備（新火葬場整備）を推進していきます。</p> <p><b>●基本方針</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 新火葬場の整備を推進します。</li> <li>② 地球温暖化防止対策を推進します。</li> <li>③ 可燃ごみ30%の減量を目指します。</li> <li>④ 消費生活センターの充実を図り、消費者被害の防止に努めます。</li> <li>⑤ 環境保全対策を推進します。</li> </ol>	所管課	環境政策推進室、生活環境課、クリーンセンターかもめ、長船衛生センター、長船クリーンセンター、消費生活センター		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			14人	16人	30人
		一般会計	1,168,209 千円		
		特別会計	千円		
		計	1,168,209 千円		
(うち人件費)	( 113,775 千円)				

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	新火葬場整備の推進  新火葬場の整備は、用地取得を進めるとともに、新火葬場本体工事にかかる事業手法を検討します。また、岡山市との広域整備にかかる基本協定を締結します。	事業用地の取得を進めるとともに、今後を見据え、土木工事や建築工事にかかる事業手法を検討します。  岡山市と具体的な協議を進め、広域整備にかかる基本協定を締結します。	未買収地は残り一件。工事施工同意書はいただいていることから土木工事着手に向け準備を進めます。  協定締結に向け岡山市と協議を進めています。	12月中に事業に必要とされる全用地を買収することができました。  協定締結に向け岡山市と協議を進めています。	事業用地の取得が完了しました。土木工事着手に向け準備を進めます。  協議を進めましたが協定の締結には至りませんでした。


	重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
2	地球温暖化防止対策の推進	地球温暖化対策計画（平成 28 年 5 月 13 日閣議決定）に基づき、温室効果ガス排出量を 2030 年度に 2013 年度比 26%削減を目指して、各種施策を推進します。	公共施設等先進的 CO2 排出削減対策モデル事業により、邑久小学校・今城小学校・美和小学校・国府小学校・行幸小学校、邑久学校給食調理場及び市役所本庁舎の省エネ改修を実施し、公共施設からの二酸化炭素の排出量を年間 91 t-CO2 削減します。また、市ホームページ等で事業について市民への周知を図ります。	市役所本庁舎以外の公共施設は省エネ改修を完了しました。	市役所本庁舎の工事も完了し、本年度予定していた工事を完了しました。	市役所本庁舎の工事も完了し、本年度予定していた公共施設省エネ改修工事は完了しました。工事完成に伴い次年度からデマンド制御を開始します。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況																																																							
3	<p>ごみの排出抑制や循環型社会施策の推進と環境関連施設の適正な維持管理</p> <p>プラスチック製容器包装の分別適正化の推進を図ります。ごみ減量化と人的負担の軽減を図るため、出前講座、広報紙などを通して啓発を行い、プラと対象外プラ商品との分別徹底を図ります。</p> <p>生ごみの減量化、減容化の推進を行います。可燃ごみの減量化対策として既に多品目分別による資源化施策を行っている。残る生ごみ処理についても微生物資材等を活用した生ごみ処理事業の推進により、可燃ごみの減量化を推進します。</p> <p>2施設あるごみ分別施設の機能の集約化をおこない、分別作業の向上や効率を図ります。</p> <p>災害廃棄物処理基本計画の策定をおこないます。</p>	<p>ごみ減量率は、平成35年度末で17%を目指します。</p> <p>ごみ減量率の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>全体</th> <th>家庭系可燃ごみ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23年度</td> <td>4.0%</td> <td>4.2%</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>8.4%</td> <td>6.9%</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>10.7%</td> <td>9.2%</td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td>13.8%</td> <td>14.6%</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>14.6%</td> <td>13.9%</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>16.0%</td> <td>15.5%</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>16.1%</td> <td>14.7%</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>16.1%</td> <td>15.8%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	全体	家庭系可燃ごみ	23年度	4.0%	4.2%	24年度	8.4%	6.9%	25年度	10.7%	9.2%	26年度	13.8%	14.6%	27年度	14.6%	13.9%	28年度	16.0%	15.5%	29年度	16.1%	14.7%	30年度	16.1%	15.8%	<p>ごみ減量率は、平成35年度末で17%を目指します。</p> <p>ごみ減量率の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>全体</th> <th>家庭系可燃ごみ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23年度</td> <td>4.0%</td> <td>4.2%</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>8.4%</td> <td>6.9%</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>10.7%</td> <td>9.2%</td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td>13.8%</td> <td>14.6%</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>14.6%</td> <td>13.9%</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>16.0%</td> <td>15.5%</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>16.1%</td> <td>14.7%</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>16.1%</td> <td>15.8%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	全体	家庭系可燃ごみ	23年度	4.0%	4.2%	24年度	8.4%	6.9%	25年度	10.7%	9.2%	26年度	13.8%	14.6%	27年度	14.6%	13.9%	28年度	16.0%	15.5%	29年度	16.1%	14.7%	30年度	16.1%	15.8%	<p>ごみの減量率は、次の通りです。</p> <p>4月末 7.9%</p> <p>5月末 8.5%</p> <p>6月末 12.8%</p> <p>7月末 11.0%</p> <p>8月末 10.7%</p> <p>9月末 11.5%</p> <p>参考：H30.9月末 14.4%</p> <p>ごみ減量に関する出前講座を13回、出前授業を1回実施しました。</p> <p>生ごみ処理機購入補助金は、9件の申請がありました。</p> <p>「キエーロ」は38名の方にモニターをお願いしています。</p> <p>測量が終わり、基本設計を行い、現地調査の段階です。</p> <p>災害廃棄物処理計画の資料を収集しています。</p>	<p>ごみの減量率は、次の通りです。</p> <p>10月末 12.1%</p> <p>11月末 12.8%</p> <p>12月末 12.1%</p> <p>1月末 12.5%</p> <p>参考：H31.1月末 15.2%</p> <p>ごみ減量に関する出前講座を14回、出前授業を1回実施しました。</p> <p>生ごみ処理機購入補助金は、14件の申請がありました。</p> <p>「キエーロ」は38名の方にモニターをお願いしました。</p> <p>基本設計、現地調査が終わり、集約化のまとめに入っています。</p> <p>まとめの作業を行っています。</p>	<p>ごみの減量率は、次の通りです。</p> <p>2月末 13.4%</p> <p>3月末 13.3%</p> <p>参考31.3月末16.1%</p> <p>ごみ減量に関する出前講座を14回、出前授業を1回実施しました。(H30年度実績出前講座10回)</p> <p>生ごみ処理機購入補助金は、14件の申請がありました。(H30年度実績17件)</p> <p>「キエーロ」は38名の方にモニターをお願いしました。</p> <p>本年度予定していた集約化調査は完了。次年度より実施設計を行います。</p> <p>災害廃棄物処理基本計画の策定が完了し、ホームページに掲載しました。</p>
		年度	全体	家庭系可燃ごみ																																																								
		23年度	4.0%	4.2%																																																								
		24年度	8.4%	6.9%																																																								
		25年度	10.7%	9.2%																																																								
		26年度	13.8%	14.6%																																																								
		27年度	14.6%	13.9%																																																								
		28年度	16.0%	15.5%																																																								
		29年度	16.1%	14.7%																																																								
		30年度	16.1%	15.8%																																																								
年度	全体	家庭系可燃ごみ																																																										
23年度	4.0%	4.2%																																																										
24年度	8.4%	6.9%																																																										
25年度	10.7%	9.2%																																																										
26年度	13.8%	14.6%																																																										
27年度	14.6%	13.9%																																																										
28年度	16.0%	15.5%																																																										
29年度	16.1%	14.7%																																																										
30年度	16.1%	15.8%																																																										

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4	<p>消費者被害の防止</p> <p>瀬戸内市消費生活センターの認知度を向上させます。</p> <p>警察や関係機関との連携をおこなうと共に、被害の防止と解決に資する機関として機能の充実を図ります。</p> <p>被害に遭わないための消費者知識を身に着けるため消費者教育を推進します。また、被害に遭いやすい高齢者を見守る人たちへの啓発活動を行い、被害防止や被害の早期発見を目指します。</p>	<p>公共施設等で巡回啓発パネル展示を実施し認知度の向上を図ります。</p> <p>市民図書館に消費者教育コーナーを設置し関連図書並びにパンフレットを配置し消費者教育に関する図書の紹介、貸出を行います。</p> <p>目標 巡回啓発パネル展4回</p> <p>広報紙、出前講座などを通して相談事例や被害に遭わないためのアドバイス、消費生活の豆知識の紹介をします。</p> <p>民生委員、地域包括支援センター、介護事業所など高齢者を見守る役割を担う方々への啓発活動を行います。</p>	<p>巡回パネル展を、福祉センターで開催しました。</p> <p>5月8日～28日まで市民図書館において、消費者教育コーナーを設置しました。</p> <p>広報せとうちに「消費者生活安心ホットライフ」を4回掲載するとともに、各地区に出向き、出前講座を18回開催しました。</p> <p>民生児童委員会定例会に出席し、啓発や連携をお願いしました。</p> <p>9月末の相談件数は、148件となっています。</p> <p>参考：H30.9月末 160件</p>	<p>巡回パネル展を、福祉センターで開催しました。</p> <p>5月8日～28日まで市民図書館において、消費者教育コーナーを設置しました。</p> <p>広報せとうちに「消費者生活安心ホットライフ」を6回掲載するとともに、各地区に出向き、出前講座を24回開催しました。</p> <p>民生児童委員会定例会に出席し、啓発や連携をお願いしました。</p> <p>1月末の相談件数は、222件となっています。</p> <p>参考：H31.1月末 252件</p>	<p>巡回パネル展を2回開催しました。また、本庁ロビーでは、消費者教育コーナーを設置し、パンフレット配布、DVD上映しました。</p> <p>(H30年度実績4回)</p> <p>広報せとうちに「消費者生活安心ホットライフ」を6回掲載しました。</p> <p>(H30年度実績10回)</p> <p>各地区に出向き、出前講座を24回開催しました。</p> <p>(H30年度実績17回)</p> <p>警察や関係機関との連携を図るため、連携会議を始めました。今後も継続し被害防止や被害の早期発見に努めていきます。</p> <p>3月末の相談件数は、247件となっています。</p> <p>参考：H31.3月末 275件</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
5	<p>生活環境の保全</p> <p>瀬戸内市の生活環境保全のため、市民及び事業者に対する啓発活動を充実します。</p> <p>飼い主のいない猫の繁殖を抑制するとともに、糞尿等による生活環境被害を防止し、併せて市民の動物に対する愛護意識の高揚を図ります。</p> <p>河川の水質保全に向けて、下水道計画区域外における合併処理浄化槽の整備を推進します。</p>	<p>広報紙に啓発記事を定期的に掲載するとともに、市ホームページを見直し、啓発活動の強化を図ります。</p> <p>関係機関との共催により、「環境フェスタ in せとうち」を開催します。 目標参加人数： 350人</p> <p>(今年度より新規) 飼い主のいない猫の不妊去勢手術費の補助を行い、繁殖を抑制します。 目標数：20匹</p> <p>114基の合併処理浄化槽の設置を目指します。</p>	<p>広報せとうち5月号に水質事故防止の記事を掲載しました。</p> <p>6月2日に「環境フェスタ in せとうち」を開催し、350人以上の参加がありました。</p> <p>飼い主のいない猫の不妊去勢手術費の補助(補正を含む)を行いました。 実施数：57匹</p> <p>63基の申請がありました。そのうち25件の申請が手続きを完了しています。</p>	<p>広報せとうち5月号に水質事故防止の記事を掲載しました。</p> <p>6月2日に「環境フェスタ in せとうち」を開催し、350人以上の参加がありました。</p> <p>飼い主のいない猫の不妊去勢手術費の補助(補正を含む)を行いました。 実施数：62匹</p> <p>86基の申請がありました。そのうち55件の申請が手続きを完了しています。</p>	<p>広報せとうち5月号に水質事故防止の記事を掲載しました。</p> <p>6月2日に「環境フェスタ in せとうち」を開催し、350人以上の参加がありました。</p> <p>飼い主のいない猫の不妊去勢手術費の補助(補正を含む)を行いました。 実施数：89匹</p> <p>86基の申請があり86件の申請全てが手続きを完了し、河川の水質保全の向上が図れました。 (H30年度実績91基)</p>

## 平成31年度 保健福祉部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
<p style="text-align: center;">保健福祉部長 青山 祐志</p> 	<p>●使命 保健福祉部は、妊娠期から乳幼児、高齢者、障がい者の方々等が、住み慣れた地域で、笑顔で暮らすことができるように、健康づくりの推進、各種福祉・介護サービスの充実を図るとともに、関係者の連携を深め、共に支えあう地域づくりを大切にしたい保健福祉行政を推進します。</p> <p>●基本方針 ①障がい者や生活困窮者が自立し活躍できるよう、相談体制を強化するとともに、就労支援体制の充実を図ります。 ②子育て環境を一層充実するとともに、地域の関係機関や行政機関とのネットワークを充実することによって、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を推進していきます。 ③市民が自分らしい豊かな人生を送ることができるよう、地域ぐるみで心と体の健康づくりを推進します。 ④高齢者が安心して元気に生活できるよう、介護保険制度の体制を充実します。 ⑤誰もが住み慣れた自宅や地域で安心して暮らし続けるまちを目指して、地域包括ケアシステムの充実をめめます。</p>	所管課	福祉課・子育て支援課（公立保育園）・健康づくり推進課（子ども包括支援センター）・いきいき長寿課・トータルサポートセンター		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			112人	117人	229人
		一般会計	5,014,018 千円		
		特別会計	4,449,428 千円		
		計	9,463,446 千円		
(うち人件費)	( 714,675 千円)				



重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1 生活困窮者自立支援事業及び障害者相談支援事業の充実	<p>自立相談支援事業及び家計相談支援事業を、委託先の社会福祉協議会と連携して実施します。</p> <p>今年度からは、一時生活支援事業を実施し、住所を持たない生活困窮者の自立を支援します。</p> <p>また、就労準備支援事業を実施し、就労能力が低いなどの課題を抱える人に対して、就労の機会を提供し、就職活動等の総合的な支援や就労体験等を通じて最終的に一般就労に結びつけ、自立を促進します。</p> <p>障害者相談支援事業を、委託先の障害者相談支援事業所と連携して実施します。</p> <p>事業の推進により、市内の障害のある人及びその家族等に対して、福祉サービス等の社会資源に関する情報提供を行い、関係機関と連携を取りながら、障害のある人の地域生活を支援します。</p>	<p>生活困窮者に対する第2のセーフティネットとして設置した生活相談支援センターの利用促進や運営を支援します。また、センターやジョブスポットせとうちと生活相談支援員との連携により就労支援を実施し、生活困窮者の生活が安定するよう努めます。</p> <p>・目標就労者数 年間15人</p> <p>委託先の障害者相談支援事業所との連携を図り、地域課題を把握し、民生委員やトータルサポートセンター（障害者基幹相談支援事業）等の関係機関との連携を強化し、相談支援体制の充実に努めます。</p> <p>・目標相談支援件数 年間300件</p>	<p>生活相談支援センター、ジョブスポット、就労支援員の連携により、就労支援を実施しています。</p> <p>9月末 就労者数 9人</p> <p>委託先の障害者相談支援事業所との連携を図り、相談支援体制の充実に努めています。</p> <p>9月末 相談支援件数 145件</p>	<p>生活相談支援センター、ジョブスポット、就労支援員の連携により、就労支援を実施しています。</p> <p>1月末 就労者数 15人</p> <p>委託先の障害者相談支援事業所との連携を図り、相談支援体制の充実に努めています。</p> <p>1月末 相談支援件数 226件</p>	<p>生活相談支援センター、ジョブスポット、就労支援員の連携により、就労支援を実施しています。</p> <p>3月末 就労者数 15人</p> <p>委託先の障害者相談支援事業所との連携を図り、相談支援体制の充実に努めています。</p> <p>3月末 相談支援件数 265件 (新規 40) △1 (継続 225) +28 前年比</p>

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
2	<p>子育て環境の充実</p> <p>新たな子育て施策の実施を検討します。</p>	<p>平成30年度の「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」等を踏まえ、第2期瀬戸内市子ども・子育て支援事業計画を策定します。</p>	<p>次世代育成支援対策推進協議会にて意見を聴取しています。</p>	<p>第2期瀬戸内市子ども・子育て支援事業計画は、次世代育成支援対策推進協議会の答申を受け、3月末での審議を経て素案を作成し、現在パブリックコメントを実施しています。</p>	<p>パブリックコメントの実施、次世代育成支援対策推進協議会の答申を受け、3月末に第2期瀬戸内市子ども・子育て支援事業計画を策定しています。</p>
	<p>安全で安心できる子育て環境の整備を行います。</p>	<p>耐震基準を満たしていない放課後児童クラブの改修を行うとともに、民間誘致等による放課後児童クラブの増設を目指します。また、待機児童解消のため、保育施設のあり方について検討します。</p>	<p>改修が必要なクラブの一部解体増築工事を9月に着工しました。また、邑久地区に民設民営の放課後児童クラブの誘致ができ、来年度開設に向けて事業者の支援をしています。</p>	<p>放課後児童クラブの一部解体増築工事は3月末までの完成を目指して工事を進めています。民間誘致した放課後児童クラブは、来年度4月開所に向けて事業者支援をしています。</p>	<p>放課後児童クラブの一部解体増築工事は3月末に完成しています。民間誘致した放課後児童クラブは、来年度4月に開所します。</p>
	<p>子育て中の孤立化や児童虐待を予防するため、関係機関との状況共有会議を実施し、安心して子育てができる環境づくりに努めます。</p>	<p>警察、児童相談所、教委等と情報を共有しながら、見守りを行います。また、その中で個別の会議を適時開催し、改善方を協議し、状況の改善に努めます。</p>	<p>引き続き、関係機関との情報共有をしながら、改善方法を協議していきます。また、現在見守りを行っている全ての方の現状確認をし、状況に応じた対応を行っています。</p>	<p>引き続き、毎月の会議・見守り等を通じて、関係機関との情報共有や改善方策の協議を行っています。また、虐待防止に関して関係機関への周知活動や研修を行っています。</p>	<p>瀬戸内市要保護児童対策地域協議会において、年11回の実務者会議や個別ケース会議を随時開催し、状況共有の上、改善方法を協議しました。また、関係機関等に対し、研修を実施しました。児童虐待防止専門研修会 計50名 CAP研修 計71名</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
3	地域ぐるみで子どもから高齢者までの心と体の健康づくりの推進	子ども包括支援センターと健康づくり推進課保健師・助産師及び関係機関が連携を図りながら、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない相談支援を実施します。	対象別相談支援件数 ・妊婦の訪問・相談件数 訪問 実30人 相談 延280件 ・乳児家庭全戸訪問 対象者約200人	妊婦の訪問・相談件数 訪問 実5人 相談 延161件 乳児家庭全戸訪問 98人	妊婦の訪問・相談件数 訪問 実8人 相談 延221件 乳児家庭全戸訪問 168人	妊婦の訪問・相談件数 訪問 実8人 相談 延289件 乳児家庭全戸訪問 199人
	外遊びを通じて、子どもの健全な発育を促し、子育て不安の解消に努めます。また地域住民との協働により実施し、住民が子育てに関心を持つことで安心して子育てができる地域づくりを目指します。	こどもひろばの開催 開催回数・参加者数 小規模 5回・延100組 大規模 2回・延100組 こどもひろばにボランティアとして参加市民の数 7回 延100人	こどもひろば 小規模 3回・延30組 大規模 1回・延51組  ボランティア 4回 市民 延37人 子育て支援センター 延19人	こどもひろば 小規模 5回・延57組 大規模 2回・延73組  ボランティア 7回 市民 延78人 子育て支援センター 延29人	こどもひろば 小規模 5回・延57組 大規模 2回・延73組  ボランティア 7回 市民 延78人 子育て支援センター 延29人	
	発達に課題を抱える子どもが安心して生活できるよう、臨床心理士が相談支援を行います。	臨床心理士による相談 実 130人 延 250人 巡回相談 延10回 ケース会議 延25回	臨床心理士の相談 実 92人 延 191人 巡回相談 延1回 ケース会議 延6回	臨床心理士の相談 実 137人 延 275人 巡回相談 延4回 ケース会議 延7回	臨床心理士の相談 実 175人 延 318人 巡回相談 延4回 ケース会議 延10回	
	働き盛りの年齢の方が受診しやすいよう、各種がん検診を日曜日や夕方実施し、要精検と判定された方に対し精密検査の受診勧奨を強化します。	胃、大腸、肺、子宮、乳がんの各がん検診精検受診率の目標 90%以上 (国への地域保健・健康増進事業報告でH27年度分より用いられている受診率)	胃がん 23.5% 肺がん 14.3% 大腸がん 25.5% 子宮がん 43.8% 乳がん 14.7%	胃がん 76.5% 肺がん 92.9% 大腸がん 78.2% 子宮がん 81.3% 乳がん 82.4%	胃がん 87.3% 肺がん 92.9% 大腸がん 78.9% 子宮がん 82.4% 乳がん 93.0%	
愛育委員の協力により、乳がん自己検診のPRに努めます。	乳がん検診会場で、愛育委員による乳がん自己検診のPR 中央公民館・ゆめトピア長船会場 実 900人	愛育委員が乳がん自己検診をPRした実績 8会場 実 920人	愛育委員が乳がん自己検診をPRした実績 8会場 実 920人	愛育委員が乳がん自己検診をPRした実績 8会場 実 920人		

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
3	<p>潜在的に心を病んだ方や家族が相談につながるように、こころの健康に関する普及啓発を行います。</p>	<p>こころの健康相談 (12回) 新規利用者の相談 実10人 保健師による相談 延150人 こころの健康講座の開催 開催回数 2回 延120人</p>	<p>こころの健康相談 6回 新規利用者の相談 実1人 保健師による相談 延90人 (面接) こころの健康講座 2回 延64人 (依存症専門研修、ひきこもり支援者研修)</p>	<p>こころの健康相談 10回 新規利用者の相談 実4人 保健師による相談 延154人 (面接) こころの健康講座 3回 延80人 (依存症専門研修、ひきこもり支援者研修、市民講座)</p>	<p>こころの健康相談 12回 新規利用者の相談 実6人 保健師による相談 延187人 (面接) こころの健康講座 3回 延80人 (依存症専門研修、ひきこもり支援者研修、市民講座)</p>
	<p>愛育委員・栄養委員の心や身体の健康づくりに関する研修等を充実し、地域住民の健康づくりを推進します。</p>	<p>研修等の開催回数, 参加者数 愛育：130回 延2,400人 栄養：70回 延1,100人</p>	<p>愛育委員 56回 延1,230人 栄養委員 30回 延585人</p>	<p>愛育委員 101回 延2,006人 栄養委員 55回 延952人</p>	<p>愛育委員 105回 延2,052人 栄養委員 56回 延967人</p>
	<p>妊婦・子ども・成人・高齢者対象に、歯及び歯周疾患の予防啓発活動を行います。</p>	<p>地域で愛育委員・栄養委員が実施した健康づくり活動に参加した住民数 愛育委員：延8,000人 栄養委員：延8,000人</p> <p>歯及び歯周疾患の予防啓発に関する健康教育又は保健指導を行う。 ・妊婦対象 3回 延25人 ・子どもの親対象 育児相談15回 延100組 子育て支援センター 5回 延50組 ・成人・高齢者対象 (サロン老人クラブ・はつらつOB・ 介護予防リーダー等) 20回 延400人</p>	<p>愛育委員 延2,451人 栄養委員 延760人</p> <p>・妊婦対象 1回 延8人 ・子どもの親対象 育児相談 6回 延29組 子育て支援センター 1回 延5組 保育園、幼稚園 3回 延192人 ・成人・高齢者対象 4回 延56人</p>	<p>愛育委員 延6,500人 栄養委員 延2,081人</p> <p>・妊婦対象 2回 延13人 ・子どもの親対象 育児相談・子育て相談 11回 延55組 子育て支援センター 4回 延12組 保育園、幼稚園 3回 延192人 ・成人・高齢者対象 16回 延243人</p>	<p>愛育委員 延6,760人 栄養委員 延6,935人</p> <p>・妊婦対象 2回 延13人 ・子どもの親対象 育児相談・子育て相談 12回 延57組 子育て支援センター 4回 延12組 保育園、幼稚園 3回 延192人 ・成人・高齢者対象 17回 延268人</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4	<p>高齢者福祉の推進</p> <p>認知症施策を推進します。</p>	<p>認知症高齢者の地域での見守りと行方不明時の対応の充実に取り組みます。</p> <p>認知症サポーター養成講座修了者数 200人 高齢者徘徊対策促進事業登録者数 10人</p>	<p>認知症サポーター養成講座修了者数 97人 高齢者徘徊対策促進事業登録者数 9人</p>	<p>認知症サポーター養成講座修了者数 417人 高齢者徘徊対策促進事業登録者数 12人</p>	<p>認知症サポーター養成講座修了者数 417人 高齢者徘徊対策促進事業登録者数 13人</p>
	<p>介護サービス介護給付の適正化を推進します。</p>	<p>事業者指導の推進を図ります。</p> <p>地域密着型サービス事業所 7事業所 居宅介護支援事業所 6事業所</p>	<p>実地指導 0事業所 10月から順次実施予定です。</p>	<p>地域密着型サービス事業所4事業所、居宅介護支援事業所3事業所の実地指導を行いました。 その他の案件で2事業所の指導を行いました。</p>	<p>年度中に指導計画を変更したことから、目標に届きませんでした。 実地指導 7事業所 その他指導 2事業所</p>
	<p>介護予防・日常生活支援総合事業を通じた地域づくりに努めます。</p>	<p>介護予防・日常生活支援総合事業について、関係機関で情報を共有しながら、支援内容、取組み方法等の見直しを行います。</p> <p>生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体会議開催回数 1回以上</p> <p>地域包括支援センターにコーディネータを配置し、連携を行いながら地域づくりを行っています。</p> <p>はつらつ教室（新規） 10カ所 参加目標実人数 150人 はつらつ教室OB会 80カ所</p>	<p>生活支援・介護予防サービス提供主体等協議会は1回開催する予定です。</p> <p>地域でははつらつ教室も活発に実施されています。</p> <p>はつらつ教室（4月以降新規） 8カ所 参加実人数 138人 はつらつ教室OB会 91カ所</p>	<p>生活支援・介護予防サービス提供主体等協議会は年度内に1回開催する予定です。</p> <p>地域でははつらつ教室も活発に実施されています。</p> <p>はつらつ教室（4月以降新規） 19カ所 参加実人数 258人 はつらつ教室OB会 98カ所</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施できませんでした。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月のはつらつ教室は自粛となりましたが、目標は達成できました。</p> <p>はつらつ教室（4月以降新規） 19カ所</p>


重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
	<p>高齢者が生きがいを感じることができる施策の実施を検討します。</p>	<p>介護予防リーダーを育成し、地域での活動支援を行います。</p> <p>介護予防リーダー育成 20人 介護予防リーダー活動者 50人</p> <p>生涯現役で活躍できる環境整備の検討を進めています。</p>	<p>育成研修は6月から8月にかけて実施しました。</p> <p>介護予防リーダー育成 26人 介護予防リーダー活動者 54人</p> <p>環境整備を行うための実施機関の検討を進めています。</p>	<p>9月以降は、介護予防リーダー向けの資質向上研修を開催しました。</p> <p>介護予防リーダー育成 26人 介護予防リーダー活動者 60人</p> <p>実施機関である協議会を11月に設立し、事業実施に向けての準備を進めています。</p>	<p>参加実人数 258人 はつらつ教室OB会 98カ所</p> <p>介護予防リーダーの育成、資質向上を図ることができました。</p> <p>介護予防リーダー育成 26人 介護予防リーダー活動者 58人</p> <p>協議会にて事業実施に向けて協議をお行い、国の事業へ企画提案を実施しました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
5	<p>保健、福祉、医療連携の深化・推進</p> <p>できる限り住み慣れた自宅や地域で安心して暮らし続けながら、必要な医療や福祉サービスを受けられるような、地域ネットワークの充実強化を推進します。</p>	<p>市内の医療・福祉・介護関係機関が連携を深められるよう、多数の関係機関が参加できる専門職研修会等を実施します。</p> <p>1 研修会あたり市内関係機関参加目標率</p> <p>医療機関 15%</p> <p>介護機関 40%</p> <p>障害福祉機関 15%</p> <p>延参加目標人数 300 人</p>	<p>多職種連携研修会 1 回</p> <p>市内関係機関参加率</p> <p>医療機関 21.6%</p> <p>介護機関 43.6%</p> <p>障害福祉機関 13.3%</p> <p>参加人数 110 人</p> <p>高齢者入所施設合同研修会 1 回 33 人</p> <p>せとうちカフェ 1 回 39 人</p>	<p>多職種連携研修会 3 回</p> <p>市内関係機関参加率</p> <p>医療機関 19.8%</p> <p>介護機関 45.2%</p> <p>障害福祉機関 44.0%</p> <p>参加人数 267 人</p> <p>高齢者入所施設合同研修会 2 回 66 人</p> <p>せとうちカフェ 2 回 72 人</p>	<p>多職種連携研修会 4 回</p> <p>市内関係機関参加率</p> <p>医療機関 20.1%</p> <p>介護機関 42.9%</p> <p>障害福祉機関 33.0%</p> <p>参加人数 346 人</p> <p>高齢者入所施設合同研修会 2 回 66 人</p> <p>せとうちカフェ 3 回 96 人</p>
		<p>障がいのある人への支援の質の向上を図るため、平成31年度から障害福祉機関・介護機関の職員を対象とした障害基礎研修を開催します。</p> <p>知的障害・精神障害 同一内容で各 2 回</p>	<p>知的障害基礎研修会 1 回 32 人</p> <p>精神障害基礎研修会 1 回 44 人</p>	<p>知的障害基礎研修会 2 回 64 人</p> <p>精神障害基礎研修会 2 回 52 人</p>	<p>知的障害基礎研修会 2 回 64 人</p> <p>精神障害基礎研修会 2 回 52 人</p>
		<p>在宅医療・福祉に係る支援を必要とする人に、適切な対応ができるよう関係機関との連携を強化し、相談支援体制の充実に努めます。</p>	<p>もの忘れ相談会を初めて開催しました。</p> <p>相談件数 3 件</p>	<p>もの忘れ相談会を初めて開催しました。</p> <p>相談件数 6 件</p>	<p>もの忘れ相談会を初めて開催しました。</p> <p>相談件数 6 件</p>
		<p>認知症初期集中支援の目標</p> <p>新規訪問支援対象者数 10 件以上</p>	<p>新規訪問支援対象者数 5 件</p>	<p>新規訪問支援対象者数 11 件</p>	<p>新規訪問支援対象者数 11 件</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
	<p>地域包括ケアシステムを踏まえた在宅医療・介護推進、基幹相談支援機能について、市民・地域住民への普及啓発を行います。</p> <p>関係部署・関係機関との協働により作成した地域包括ケア実行計画に基づき、年次目標が達成できるよう多職種との連携調整を図ります。</p>	<p>在宅医療・福祉に係る目標相談支援件数 300件以上</p> <p>関係機関への連携延べ件数 80件以上</p> <p>市民講座及び研修会の開催、広報紙等を発行します。</p> <p>市民講座、出前講座等開催 10回 延参加目標人数 300人</p> <p>広報せとうち記事掲載2回 ケアネットせとうち通信発行 3回</p> <p>市在宅医療・福祉・保健連絡協議会で、地域包括ケア実行計画等の進捗、取組状況の報告、情報交換を行います。</p> <p>協議会会議開催 4回 委員数 17人</p>	<p>在宅医療・福祉に係る相談支援件数 332件</p> <p>関係機関への連携延べ件数 106件</p> <p>市民講座開催 1回 参加人数 129人</p> <p>出前講座等 4回 延参加人数 62人</p> <p>広報せとうち記事掲載 1回 ケアネットせとうち通信発行 1回</p> <p>市在宅医療・福祉・保健連携協議会（ケアネットせとうち）開催 2回 出席委員 延 34人</p>	<p>在宅医療・福祉に係る相談支援件数 533件</p> <p>関係機関への連携延べ件数 149件</p> <p>市民講座開催 1回 参加人数 129人</p> <p>出前講座等 7回 延参加人数 174人</p> <p>広報せとうち記事掲載 2回 ケアネットせとうち通信発行 2回</p> <p>市在宅医療・福祉・保健連携協議会（ケアネットせとうち）開催 3回 出席委員 延 48人</p>	<p>在宅医療・福祉に係る相談支援件数 709件</p> <p>関係機関への連携延べ件数 186件</p> <p>市民講座開催 1回 参加人数 129人</p> <p>出前講座等 9回 延参加人数 219人</p> <p>広報せとうち記事掲載 2回 ケアネットせとうち通信発行 3回</p> <p>市在宅医療・福祉・保健連携協議会（ケアネットせとうち）開催 4回 出席委員 延 64人</p>



## 平成31年度 産業建設部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
産業建設部長 難波 利光	<p><b>●使命</b>                      私たち産業建設部は、災害に強いまちをつくるため、インフラ施設の長寿命化を図りながら、更なる住環境の整備を進めることで、安全で快適な生活空間の創出を目指します。また、情報発信事業を推進することで、市の魅力を広く内外に伝え、併せて地域が元気で持続的発展できるよう、中小企業振興等に力を入れながら施策を展開し、産業の活性化を積極的に進めます。</p> <p><b>●基本方針</b></p> <p>①河川、高潮、住宅の耐震化等の防災対策事業を計画的に実施し、錦海排水ポンプ等の公共施設の管理責任を果たします。</p> <p>②長寿命化計画に基づき生活道路等の年次的な整備を行います。</p> <p>③JR3駅の駅前整備事業を促進します。</p> <p>④農地維持や資源の質的向上を図るため、農業用施設の適正な維持管理が行えるよう事業の促進に努めます。</p> <p>⑤担い手の育成や耕作放棄地対策等の事業に取り組むことで、農林水産業の活性化を後押しします。</p> <p>⑥深刻化する有害鳥獣による農作物への被害を抑えるため、積極的に対策事業を進めていきます。</p> <p>⑦情報発信事業に継続して取り組むことで、市の知名度向上につなげ、インバウンドを含めた観光振興を推進します。</p> <p>⑧地域産業の担い手である市内の小規模事業者や中小企業者のための振興対策を積極的に推進します。</p> <p>⑨投資による雇用・税収を確保するため、農村地域産業導入促進法による企業誘致を促進します。</p>	<b>所管課</b> 建設課・農林水産課・商工観光課			
	<b>人 員</b>	<b>正職員</b> 33人	<b>臨時職員</b> 6人	<b>合計</b> 39人	
	<b>一般会計</b>	3,438,800 千円			
	<b>特別会計</b>	587,282 千円			
	<b>計</b>	4,026,082 千円			
	<b>(うち人件費)</b>	(224,772 千円)			

重点項目		内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	河川、高潮、住宅の耐震化等の防災対策の推進	大雨、台風等による河川氾濫、高潮対策等の防災対策事業の基本となる、総合治水基本計画の策定を進めます。	総合治水基本計画を策定します。	総合治水基本計画検討業務を委託発注し策定中。	内水対策メニューの整理中。3月末に業務完成予定。	新型コロナウイルスの緊急事態宣言の影響で工期延期。6月初旬に完成予定です。
		住宅について、住宅耐震診断、補強計画、耐震工事を広報誌等による周知により事業推進し、災害の未然防止や被害の軽減を図ります。	住宅耐震診断、補強計画、補強工事に対する補助金を交付します。 (木造住宅) 耐震診断 15件 補強計画 10件 補強工事 5件	(木造住宅) 耐震診断 6件 補強計画 2件 補強工事 2件	(木造住宅) 耐震診断 8件 補強計画 3件 補強工事 2件	(木造住宅) 耐震診断 8件 補強計画 3件 補強工事 2件
		錦海塩田跡地を適正に維持管理するため、排水ポンプから錦海湾に排出する管渠の改修を進めます。	排水管渠改修設計を実施し平成31年度中に工事発注を実施します。	管改修に必要な基本計画を委託発注し計画途中。	基本計画が2月末に完成予定。3案中最適工法を選定。	基本設計にて管渠ルート及び管種決定。詳細設計を次年度早期発注します。
2	長寿命化計画に基づく、生活道路等の整備	道路管理者として、道路を常時良好な状態に保つように維持、修繕することが法令化されたことを受け、5年に1回、橋梁点検を実施し健全性の診断を行い、予防保全の観点から早期補修を行うなど、適正な管理を進めます。	市道の橋梁 580 橋のうち、今年度は 116 橋の法定点検を実施します。	79橋について発注済み。36橋については直営点検を実施中。	114橋について点検完了済み。2橋は廃止手続き。	114橋について点検完了。2橋は廃止手続きが完了しました。
			生活道路改良工事では舗装修繕を含め、20 路線を実施します。	21路線の工事発注を行い実施中。	26路線の工事発注を行い、11路線が工事完了。	23路線の工事が完了し、3 路線が繰越しました。
		地域の活動や市民の生活に最も密着する生活道路の維持補修や改修整備など促進し、安心安全な地域づくりを推進していきます。また、まちづくりに必要な道路の整備を進めます。	生活道路維持補修等では、要望書に基づいた迅速な対応と、要望に対する実施率 60%以上を目指します。	要望件数204件に対し102件対応し実施率50%。	要望件数297件に対し144件対応し実施率48%。	要望件数 345 件に対し 171 件対応し実施率 50%でした。

重点項目		内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
3	J R 駅前等整備事業の推進	市内に3駅あるJ R 駅前等整備計画の実現に向けて、関係者との調整、事業の推進を図ります。	警察協議が整い次第、J R 西日本と計画協議を進め、駐輪場、トイレ整備などの、工事着手に取り掛かります。	警察協議は8月に完了し、J R 西日本と計画協議を進めている。	J R 西日本との計画協議が1月29日に完了。設計業務を実施中。	設計業務が完了。施工計画に沿った工事発注を次年度準備する。
4	農業用施設の適切な維持管理	農地の維持や農地・水路・農道等の質的向上を図るため、地域の共同活動を支援する多面的支払交付金の制度を周知し事業の推進を図ります。  農道橋、法定外橋梁の管理者として橋梁点検を実施し健全性の診断を行い、予防保全の観点から早期補修を行うなど、適正な管理を進めます。	活動団体の円滑な運営を支援すると共に、制度の普及に努め、活動団体の増加を1団体以上目指します。  農道橋、法定外橋梁19橋のうち、今年度は8橋の橋梁点検を実施します。	活動団体が1団体増加し、運営の支援を実施中。  8橋の橋梁点検について発注済み。	新規の活動団体を含め、4団体の運営は順調である。  8橋の橋梁点検が完了。	4団体の活動が完了し、次年度も継続の予定です。  8橋の橋梁点検が完了し、早期修繕の必要はありませんでした。


重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
5	農林水産業の活性化	<p>市内の耕作放棄地を復旧するとともに、新規就農者の確保とその支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助事業等を活用しながら、耕作放棄地の年間活用面積を 3 ha 増加</li> <li>県、JA 等関係機関との連携による、技術取得のための研修、就農後の経営支援等の実施</li> <li>認定農業者の認定数（更新を含む）を 25 件以上</li> <li>新規就農者数の件数を 3 件以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>0.5ha について補助事業を活用した耕作放棄地の解消相談を受けました。</li> <li>7～8 月にかけて、就農者等 8 名に対し、経営指導等実施しました。</li> <li>7 件を認定した（更新含む）ほか、数件の新規相談を受けました。</li> <li>1 件 12 月就農に向けて事前準備。そのほか就農説明会等に参加し、数件の新規相談を受けました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>0.5ha について補助事業を活用し、耕作放棄地の解消に取り組んでいます。</li> <li>10 月末に 3 名、1 月末に 8 名に対し、営農・経営指導を行いました。</li> <li>新規 1 件を認定し、合計 8 件の認定を行った。年度末までに 13 件の更新予定者について更新準備を行っています。</li> <li>1 月末までに 4 名を確認。県内・県外（大阪、東京）での就農相談会に 6 回参加しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助事業を活用し、0.5 ha の耕作放棄地を解消。また、農地利用状況調査の結果、2.7 ha の耕作放棄地の解消を確認。</li> <li>年 3 回実施。次年度以降は県、JA と連携し、年 6 回の研修会を実施することで調整済。</li> <li>23 件の認定（新規 5 件、更新 18 件）を行った。</li> <li>県内、県外での就農相談会（6 回）への参加、個別相談・産地案内（13 件）を実施。4 名の新規就農者を確保。</li> </ul>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
6	有害鳥獣被害対策の推進 近年被害が増加している鳥獣被害の防止を図るための対策を強化します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・瀬戸内市鳥獣被害防止対策協議会による被害防止計画の策定および実施、緊急時対応を含む実施隊の強化</li> <li>・防護柵設置（個別柵及び集落柵の実施）                個別柵 130件                集落柵 3件</li> <li>・地域で取り組む鳥獣害対策の推進（地域おこし協力隊の配置と育成、鳥獣対策セミナー開催（3回）等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年6月6日（木）総会開催。随時、実施隊による緊急時の出動及び被害調査を含む駆除活動を実施しました。</li> <li>・個別柵 111件                ・集落柵 2件（虫明間口、磯上油杉）を設置しました。</li> <li>・11/17、11/26、12/10に鳥獣対策セミナーを開催予定とし、講師、資料、会場等準備しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年6月6日（木）総会開催。随時、実施隊による緊急時の出動及び被害調査を含む駆除活動を実施しました。</li> <li>・個別柵 126件                ・集落柵 2件（虫明間口、磯上油杉）を設置しました。</li> <li>・11/17、11/26、12/10に鳥獣対策セミナーを開催した。さらに2/18に4回目のセミナーを開催予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年6月6日（木）総会開催。随時、実施隊による緊急時の出動及び被害調査を含む駆除活動を実施しました。</li> <li>・個別柵 177件                ・集落柵 2件（虫明間口、磯上油杉）を設置しました。                そのほか、3つの集落が、令和2年度に集落柵の設置を検討相談しています。</li> <li>・11/17、11/26、12/10、2/18に鳥獣害対策セミナーを開催しました。参加人数は以下のとおりです。                11/17 46人参加                11/26 54人参加                12/10 55人参加                2/18 89人参加                合計 244人参加</li> </ul>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
7	魅力ある観光資源の活用によるインバウンドを含めた観光客の誘致	<p>観光資源の掘り起こしや磨き上げを行い、インバウンドを意識した効果的な情報発信に取り組むことで、国内外からの観光客の増加と市の知名度向上を図ります。</p> <p>「瀬戸内海」や「日本刀」などの既存観光資源の磨き上げや新たな観光資源の掘り起こしを実施します。また、メディア等を活用した観光情報の発信を強化するため、ターゲットや観光ニーズに即した観光プロモーション事業を、公募提案型方式により実施することで、民間企業のノウハウを活用し、市の知名度を高め、国内外からの誘客の促進を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標入込客数：<u>800,000人</u></li> <li>・目標外国人観光客数 <u>3,800人</u></li> </ul> <p>(対象施設：備前長船刀剣博物館、牛窓海遊文化館、市内宿泊施設)</p>	観光資源の磨き上げ、掘り起こしについては、吉井川流域DMOと連携し、刀鍛冶体験を含む旅行商品の造成に着手いたしました。また、観光プロモーション事業では、備前長船の刀剣を軸にした観光プロモーション事業のプロポーザル審査を8月に実施し、委託業者を選定いたしました。	観光資源の磨き上げ、掘り起こしについては、吉井川流域DMOと連携し、刀鍛冶体験とサイクリングの2つの旅行商品を造成いたしました。また、観光プロモーション事業では、備前長船の刀剣について情報誌に掲載したほか、東京新橋のアンテナショップにて、備前長船のプロモーションイベントを実施いたしました。	観光資源の磨き上げ、掘り起こしについては、吉井川流域DMOと連携し、2つの旅行商品を造成しました。また、観光プロモーション事業では、備前長船の刀剣について情報誌への掲載、首都圏でのプロモーションイベントを実施しました。目標の入込客数については、夏季天候不順、新型コロナウイルスの影響等により <u>683,000人</u> にとどまりました。また、外国人観光客数についても、新型コロナウイルスの影響等による訪日旅行客の減少を受けて <u>3,447人</u> にとどまりました。(参考：前年外国人観光客数3,359人)

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
8	<p>地域産業の振興対策の推進</p> <p>地域産業の担い手である市内小規模事業者、中小企業者の振興対策を推進し、併せて創業者の支援を推進します。</p>	<p>創業支援事業計画に基づき、瀬戸内市商工会、岡山県産業振興財団、金融機関との連携による創業支援件数 149 件及び創業件数 18 件 (各連携機関合計数値)</p> <p>利子補給制度等の適正な執行による中小企業の支援を行います。</p> <p>岡山連携中枢都市圏の連携市町と合同で食品製造業見本市へ共同出店し、食品製造業の販路開拓・拡大につなげます。 ・出展予定企業数 3 社</p>	<p>岡山連携中枢都市圏事業の食品製造業見本市の共同出展について、瀬戸内市から出展する 3 社が決定し、参加する各企業のブースレイアウトも決定しました。また、当日配布するパンフレットの作成に着手しております。</p> <p>さらに、参加各企業は、個別商談会「ビジネスマッチング」に向けた準備を開始しております。</p>	<p>本年度の現段階における創業件数は 18 件で、年度末までにはまだ数件の創業が見込まれます。また、利子補給制度の執行の準備も順調に進んでいます。</p> <p>岡山連携中枢都市圏事業の食品製造業見本市の共同出展は 2 月 12～14 日の開催であり、連携市町の最終的なチェックや出展企業の準備も最終段階を迎えています。</p>	<p>創業支援計画に基づく支援件数は全体で 75 件と目標値を下回りましたが、創業件数は 20 件と目標値を上回り、各機関の連携による創業支援に成果がありました。利子補給制度の執行においても適正に行われ、中小企業の安定的経営に寄与することができました。また、岡山連携中枢都市圏事業である食品製造業見本市においても本市から 3 社の出展があり、約 150 のバイヤーとの接触により販路開拓、拡大に多くの収穫がありました。</p>
9	<p>農村地域産業導入促進法による企業誘致の促進</p> <p>投資による雇用・税収を確保するため、農村地域産業導入促進法による企業誘致を促進します。</p>	<p>企業誘致を推進するため、農村地域産業導入促進法による実施計画を策定し、新たな企業団地の指定を行います。また、県、その他関係機関と連携し、立地希望の企業情報を収集し、企業の誘致を推進します。</p> <p>・農村地域産業導入促進法による実施計画の策定</p>	<p>農村地域産業導入促進法による実施計画については、候補地となりえる土地の選定作業を行っており、条件面の整理や農業振興施策との関連について整理し、計画の策定を目指します。</p>	<p>農村地域産業導入促進法による実施計画の策定は順調に進められ、県協議前の素案は最終的な調整に入りました。今後は素案の完成の後、県協議に向けた準備を行います。</p>	<p>農村地域産業導入促進法による実施計画は、素案の作成は完了し、予定作業は終了しました。今後は、当計画を完成させるために必要となる「誘致が確実となった企業の情報等」の入力を行い、計画を完成させます。</p>

## 平成31年度 消防本部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
消防長 高原 正利	<p>●使命 私たち消防本部は、社会情勢を的確に把握し、将来を見据えたきめ細かで、地域に密着した消防行政を展開していきます。</p> <p>●基本方針 ①災害発生時に、消防力が最大限に発揮できるよう各種訓練に取り組めます。 ②社会、環境変化に応じた警防計画の見直しを進めます。 ③消防団員の災害対応能力を高めるよう努めます。 ④消防施設の充実を図ります。 ⑤防火基準等の違反を是正していくよう努めます。 ⑥口頭指導による心肺蘇生実施率を高めます。</p>	所管課	総務課 警防課 予防課 通信指令室 消防署		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			76人	人	76人
		一般会計	720,233 千円		
		特別会計	千円		
		計	720,233 千円		
	(うち人件費)	(552,018) 千円)			

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	<p>消防対応能力の向上 【警防課・消防署】</p> <p>関係機関との合同訓練及び外部施設を使用しての組織的な活動、安全管理を含めた実践訓練を実施することにより消防対応能力の向上を図ります。</p> <p>救急対応能力の向上を図ります。</p>	<p>消防訓練 年5回以上 救助訓練 年5回以上 救急訓練 年2回以上</p> <p>外部講師を招き救急技術訓練を実施 年2回以上</p>	<p>8月予定の水難救助合同訓練は、雨のため当日中止となったが、他の上半期予定の訓練は計画通り実施できています。進捗率50%</p> <p>上半期に予定の救急技術訓練は、7月に瀬戸内市民病院の竹内院長を講師で招き2日間に渡り実施しました。進捗率50%</p>	<p>消防訓練 6回実施 救助訓練 5回実施 救急訓練 2回実施 年間予定した各訓練は中止となった以外は実施できました。進捗率100%</p> <p>県南東部MCで指導救命士、救急隊が参加して同訓練が開催されました。進捗率100%</p>	<p>消防訓練 7回実施 救助訓練 5回実施 救急訓練 2回実施 雨で中止となった訓練以外は実施できました。</p> <p>外部講師を招いた救急技術訓練は2回実施し、目標どおり達成しました。</p>




重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
2	<p>警防計画の見直しを図る 【警防課・消防署】</p> <p>施設の増加、地理的環境の変化に伴った消防戦術が必要であり、消防活動の共通認識を図ります。</p>	<p>本署、牛窓・長船分駐所で現行の警防計画の見直しを図ります。</p>	<p>本署、牛窓・長船分駐所で警防計画の見直しと再調査を順次実施しています。 進捗率50%</p>	<p>本署、牛窓・長船分駐所の各署所で計画した見直し箇所は終了しました。 進捗率100% 見直し件数 本署28件 牛窓20件 長船25件</p>	<p>本署、牛窓・長船分駐所の各署所で計画した見直し箇所は終了しました。 見直し件数 本署28件 牛窓20件 長船25件</p>
3	<p>消防団の活動能力と指導能力の向上 【総務課】</p> <p>消防団施設等の整備 【総務課】</p>	<p>近年の多様な災害に対応すべく団員の消防学校の教育・訓練に派遣し、災害対応に必要な知識と技術を高め、より一層地域に密着した活動ができるよう努めます。</p> <p>鹿忍分団第3部(野上)の機能低下した消防車両の更新を図ります。</p>	<p>消防学校への派遣 水難救助 20 人 機関科 5 人 警防科 5 人 各種訓練 年5回以上</p> <p>鹿忍分団第 3 部の消防車両を更新配備します。 令和 2 年 2 月末までに実施します。</p>	<p>水難救助は 40 名 各種訓練は 3 回行っており、警防科、機関科は後期に行く予定です。</p> <p>入札は終了し詳細な打ち合わせも終わり中間検査を待つのみです。</p> <p>1 1 月末に納入が完了し、1 2 月上旬には車両取扱説明会を行いました。鹿忍分団に引渡しが完了しました。</p>	<p>機関科に 2 名派遣しました。警防科にも派遣予定です。</p> <p>機関科・警防科はコロナウイルスの関係で中止になりましたが、各分団訓練を年 5 回以上実施しました。水難救助訓練には予定人数の倍である 40 名が参加できました。</p> <p>1 2 月上旬、鹿忍分団第 3 部に消防車両の引渡しが完了しました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4	<p>消防施設等の整備 【総務課】</p> <p>長船町土師地区に災害時に対応できる貯水槽を設計し、消防水利の充実を図ります。</p>	<p>100 m<sup>3</sup>の耐震性貯水槽の設計を令和2年3月までに行います。</p>	<p>設計は完了し検査も終了しました。ただ、来年度の正確な予算がもう少しです。</p>	<p>来年度の予算もほぼ決定し順調に進んでいます。</p>	<p>9月に設計も完了し、来年度の予算も決定しました。</p>
	<p>現在の長船分駐所は耐震性能がないため新たな土地に移転・新築について検討します。</p>	<p>令和2年3月までに実施設計を完了します。</p>	<p>実施設計の打ち合わせを綿密に行っています。</p>	<p>実施設計の打ち合わせも数回行い消防側の意見等も反映してもらい順調に進んでいます。</p>	<p>3月末で実施設計を完了しました。</p>
	<p>多様な災害に対応すべく緊急消防援助隊登録の災害対応特殊水槽付ポンプ自動車の更新を目指します。</p>	<p>令和2年3月までに完成させます。</p>	<p>入札も終了し詳細な打ち合わせも終わり1月の中間検査を待つだけです。</p>	<p>ボディーカラーなど詳細も決定し2月の中間検査に向け進んでいます。</p>	<p>3月16日に納車され完成検査も終了しました。</p>
	<p>大雨、津波などによる浸水被害に対応するため、災害用救助艇1艇の整備を行います。</p>	<p>令和2年7月までに整備を終らせます。</p>	<p>6月13日に納品され整備は終了しました。</p>	<p>7月までにすべて整備を終わらせました。</p>	<p>7月までにすべて整備を終わらせました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
違反防火対象物への指導強化 <b>【予防課】</b>	立入検査で発覚した屋内消火栓、スプリンクラー設備、自動火災報知設備の未設置の事業所に対して追跡を行い違反是正を推進します。	公表制度違反事業所1件の是正を求めます。併せて公表対象外事業所12件も年度末までには是正指導をします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>公表対象の1事業所は6月に是正済みです。</li> <li>公表対象外5事業所に指導、1事業所は是正に向け進行中です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公表対象の事業所6月に是正済みです。</li> <li>公表対象外事業所1件は是正済みです。他は現在指導中です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公表対象の1事業所は6月に是正済みです。</li> <li>残りの公表対象外事業所6件の是正指導を行う予定です。</li> </ul>
小規模飲食店への立入検査を実施 <b>【予防課】</b>	消防法施行令の一部改正に伴い、150㎡未満の飲食店等に対して実施します。	10月1日から消火器具の設置義務があることの説明と設置指導を行い、時点における設置状況の実態把握に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>瀬戸内市内の小規模飲食店77件を把握しました。そのうち62件が設置必要でしたが44件が未設置でした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査結果をリスト化し、以後の状況把握ができるようにデータ化しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小規模飲食店77件の実態把握は完了し、消火器具の設置を指導しました。</li> </ul>
5 危険物施設・高圧ガス施設への事故防止対策の推進 <b>【予防課】</b>	昨年度から危険物施設における改善指示があった事業所を中心に立入検査を実施します。	定期点検未実施の危険物施設5件に対し是正指導を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>是正指導対象5件のうち2件は廃止予定です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5件中1件は是正出来ました。うち2件は事業廃止の届け出があり対象外となりました。残り2件は是正に向け立入検査を実施し指導中です。</li> </ul>	5件中2件は廃止、1件は是正、1件はR2.4月に是正されま。残り1件は指導中です。

	重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
6	新マニュアル使用による口頭指導の充実 <b>【通信指令室】</b>	119番通報者に対して、新マニュアルを使用しての、心肺蘇生法や止血等の応急手当が必要な事案に対して口頭指導を実施します。	指令室内での訓練を行い口頭指導による心肺蘇生法実施率85%以上を目指します。 また心肺蘇生法以外の応急手当実施率90%以上を目指します。	指令室内で模擬通報を実施し、スムーズで的確な口頭指導ができるよう訓練を重ねています。	心肺蘇生の口頭指導は100%実施できていますが、バイスタンダーによる心肺蘇生法実施率は60%  心肺蘇生法以外の実施率は90%	心肺蘇生の口頭指導は100%実施できていますが、バイスタンダーによる心肺蘇生法実施率は65%。  心肺蘇生法以外の実施率は95%

## 平成31年度 上下水道部 経営計画書


職・氏名	経営方針	経営資源			
上下水道部長 松本 孝之  	<p><b>●使命</b>            私たち上下水道部は、市民生活や産業経済活動に欠くことのできないライフライン事業を担っています。上水道は、安全・安心な活力ある水道を基本理念に、災害に強い安全・安心で良質な水を安定的に供給します。下水道は、快適な生活環境の整備と日々の生活で汚した水を高度処理し水質保全を図り、豊かな水環境を守ります。</p> <p><b>●基本方針</b></p> ①安全で安心な水を供給するため、水質管理・検査体制の充実や浄水施設の高度処理化に取り組みます。 ②効率的で災害に強い水道システムを構築するため、応急給水体制等の強化や、施設や管路の適正規模での更新や耐震化、統廃合を進めます。 ③健全で持続可能な事業経営を推進するため、施設や管路の適切な維持管理や投資の合理化、労働生産性の向上に努めます。 ④効率的な運営管理を見据えた整備計画を進めます。 ⑤下水道事業の効率化、維持管理コスト縮減、供用開始区域内の接続推進を図り経営の健全化を進めます。	所管課	上水道業務課・上水道施設課・下水道課		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			39人	6人	45人
		水道事業会計	2,888,819		千円
		下水道事業会計	2,643,734		千円
計	5,532,553		千円		
(うち人件費)	(284,667)		千円)		

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
1	基幹管路の耐震化及び災害時応急給水体制の強化	計画的に基幹管路の耐震化を進めます。 災害時の応急給水のため、加圧式給水車を導入します。	耐震型ダクタイル鋳鉄管口径200mm～150mm、延長276mの布設替工事を2月末までに行います。	10月工事発注に向けて準備中です。  加圧式給水車は6月に契約を行っています。	工事発注済み、現在工事中です。  加圧式給水車は発注済みです。	耐震型ダクタイル鋳鉄管口径200mm～150mm、延長262mの布設替工事は完了しました。  加圧式給水車を導入しました。

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
2	<p>浄水場及び送水管の機能強化、耐震化による更新</p> <p>福山浄水場の高度処理化や耐震化、適正規模での更新整備事業を継続します。</p> <p>北島送水管の耐震化、適正規模での布設替工事を継続します。</p>	<p>沈砂接触池及び排水池、濃縮槽を築造した後、付帯の機械・電気設備工事を実施します。その他、取水ポンプ設備及び導水配管工事を3月末までに行います。</p> <p>耐震型ダクタイル鋳鉄管口径400mm、延長285mの布設替工事を11月末までに行い、3月末までに新設管に切り替えます。</p>	<p>沈砂接触池の躯体コンクリートを打設、濃縮槽の基礎の工事中です。取水ポンプ設置について、国土交通省岡山河川事務所と協議中です。</p> <p>送水管の布設替工事は完了し、水需要が少なくなる冬季に切り替える予定です。</p>	<p>沈砂接触池及び排水池、濃縮槽の築造は完成し、付帯設備の工事中です。取水ポンプ2台の更新と導水配管工事が完了し、仮使用中です。</p> <p>1月上旬に新設管への切り替えまで完了しました。</p>	<p>沈砂接触池及び排水池、濃縮槽は付帯の機械・電気設備工事が完了しました。また、取水ポンプ全ての更新が完了し運用を開始しました。</p>
3	<p>適切な維持管理による有収率の向上</p> <p>有収率の向上を目指し、老朽管更新工事の実施と漏水の多い地域の調査を行います。</p>	<p>飯井地内配水管布設替工事水道配水用ポリエチレン管口径100mm、延長約491mの布設替を2月末までに行います。</p> <p>市内全域で選別して漏水調査を行います。</p>	<p>11月工事発注に向けて準備中です。</p> <p>市内11km（9地区）で漏水調査を完了しました。</p>	<p>工事発注済み、現在工事中です。</p> <p>市内11.8km（10地区）で第2期の漏水調査を完了しました</p>	<p>飯井地内の水道配水用ポリエチレン管、口径100mm、延長519mの布設替工事は完了しました。</p> <p>計2回の漏水調査を実施しました。延長22.8km、給水戸数1,528戸を調査しました。漏水19件を発見し全て修繕を完了しました。</p>

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4	下水道への接続推進	下水道事業の経営健全化のため、供用開始予定地区のパンフレット配布や広報紙・ホームページへの掲載、アンケート調査等により市民の理解を深め接続の向上を推進します。アンケート調査の際に接続について説明を行います。	供用開始地区への下水道接続率 77.5%を目指します。	広報紙・市ホームページに早期接続のお願いを掲載しています。また、供用開始から今年度、あらたに3年が経過した未接続世帯に対し、早期接続のお願い文書の発送を準備中です。	供用開始から今年度あらたに3年が経過した未接続世帯に対する早期接続のお願い文書を発送しました。広報紙への早期接続のお願いの掲載についても、再度実施します。昨年度、早期接続のお願いを送った世帯の接続も徐々に増えていますので、継続的に実施します。	接続率は78.1%となりました。これまで接続推進の手紙を送付した543世帯のうち、50世帯から接続申請がありました。今後も手紙の発送、アンケート調査、広報紙・ホームページによる早期接続のお願いを継続します。
5	施設の適正な管理・運営	ストックマネジメント計画の対策方針及び事業計画が完成し、今後、長寿命化を図るため、施設の点検・修繕・改築を計画的に実施していきます。また、長期的な視野に立って維持管理コストの縮減を目指します。	ストックマネジメント事業計画及び最適整備構想の結果を基に、修繕及び改築の詳細設計業務を3月末までに完成させます。また、施設の統廃合についても今後の事業の進捗状況及び財政面等を考慮しながら研究していきます。	詳細設計業務については、7月末に契約を行い、現在現場環境調査（道路状況・周辺環境・管路状況）を行っています。施設の統廃合については、総合的に検討中であり、次年度に具体的な経済比較を行う予定です。	詳細設計業務については、経済比較等を行い、修繕及び改築の工法が決定し、現在図面・数量計算書等の作成を行っています。施設の統廃合については、次年度の具体的な経済比較に向けて準備を進めています。	修繕及び改築等の詳細設計業務が完了しました。今後、計画的に改修工事を実施していきます。施設の統廃合については、次年度経済比較を行います。

## 平成31年度 病院事業部 経営計画書


職・氏名	経営方針	経営資源			
病院事業部長 小山 洋一  	<p><b>●使命</b>                      私たち病院事業部は、「市民に安らぎと幸せを届ける病院を目指します。」を理念に掲げ、市民に必要とされる病院の運営と健全な経営に努めます。</p> <p><b>●基本方針</b></p> ①地域で必要とされる医療を安全・安心に提供します。 ②人を大切にし、患者の尊厳と権利を尊重します。 ③医療・介護・保健・福祉施設等と連携し、市民とともに地域包括医療・ケアを進めます。 ④常に自己研鑽に励み、医療の質向上に努めます。 ⑤市民に必要とされる医療人を育成します。 ⑥健全な経営基盤を確立します。 ⑦楽しく働き甲斐のある職場をつくります。	所管課	市民病院・裳掛診療所		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			133人	24人	157人
		事業会計	2,069,465 千円		
		特別会計	26,770 千円		
		計	2,096,235 千円		
		(うち人件費)	( 1,143,653 千円)		

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	良質な医療サービスの提供と健診部門の充実  市民の医療需要に的確に応え、信頼される病院となるべく、患者さまの立場にたった医療、良質かつ適切で安全な医療サービスを提供します。 特定健診、人間ドック等を充実し、早期治療対応の環境づくりに努めます。	1日当たり外来患者数 230人 (前年度 209人) 1日当たり入院患者数 102人 (前年度 91人) 入院患者満足度 93%以上  外来患者満足度 72%以上  手術件数 350件 (前年度 275件) 健診者数 3,500人 (前年度 3,433人) 救急車受入件数 650件 (前年度 574件)	外来患者数 214人/日 入院患者数 91人/日 入院患者満足度 83.9% 外来患者満足度 65.4% 手術件数 144件 健診者数 1,962人 救急車受入件数 293件	外来患者数 213人/日 入院患者数 89人/日 入院患者満足度 83.9% 外来患者満足度 65.4% 手術件数 219件 健診者数 3,160人 救急車受入件数 469件	外来患者数 210人/日 入院患者数 91人/日 入院患者満足度 83.9% 外来患者満足度 65.4% 手術件数 267件 健診者数 3,388人 救急車受入件数 553件



重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	<p>地域包括医療・ケアの推進と病床管理の徹底</p> <p>地域の医療機関等との機能連携及び機能分担を進めるため、患者紹介・逆紹介の推進、情報交換等を積極的に進めます。 また、入退院管理と効率的な病床管理の徹底、地域医療連携、退院支援、在宅医療等医療・福祉の相談支援を積極的に進めます。 地域包括医療・ケア推進のため、病診連携、病病連携、福祉・介護関連の諸機関との連携をさらに強化します。 地域包括医ケア病床を30床の病棟とし、急性期病棟50床、回復期リハビリテーション病棟30床の病棟構成とします。</p>	<p>病床利用率 90.9% (前年度 82.7%)</p> <p>患者紹介率 44% (前年度 37.6%)</p> <p>逆患者紹介率 35% (前年度 21.4%)</p> <p>患者相談支援件数 5,000件 (前年度 4,904件)</p>	<p>病床利用率 82.8%</p> <p>患者紹介率 35.7%</p> <p>逆患者紹介率 22.7%</p> <p>患者相談支援件数 2,802件</p>	<p>病床利用率 77.7%</p> <p>患者紹介率 38.8%</p> <p>逆患者紹介率 22.1%</p> <p>患者相談支援件数 4,886件</p>	<p>病床利用率 82.4%</p> <p>患者紹介率 38.5%</p> <p>逆患者紹介率 22.5%</p> <p>患者相談支援件数 5,980件</p>
3	<p>経営の健全性・安定性の向上</p> <p>良質な医療サービスを地域住民に提供し続けるためには、適材適所の人材確保に努め、健全で安定した経営を行うことが必要不可欠です。 そのため、経営面においては経営企画室を設置し、収益増加とコスト節減を推進するとともに、市民が求める公立病院に期待する役割を実践し、健全な経営状態の確保に努めます。</p>	<p>入院患者1人1日当たり収入 32,770円 (前年度 30,880円)</p> <p>新入院患者数1日平均5.0人 (前年度4.2人)</p> <p>経常収支比率 100.5%</p>	<p>入院患者1人1日当たり収入 31,820円</p> <p>新入院患者数1日平均 4.0人</p> <p>経常収支比率 95.65%</p>	<p>入院患者1人1日当たり収入 31,820円</p> <p>新入院患者数1日平均 3.9人</p> <p>経常収支比率 93.97%</p>	<p>入院患者1人1日当たり収入 31,847円</p> <p>新入院患者数1日平均 3.82人</p> <p>経常収支比率 92.74%</p>


## 平成31年度 出納室 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
会計管理者 三浦 光男  	<p>●使命 出納室は、公金の収納・振込・資金運用を適正・的確に行い、市民から信用される事務処理を遂行します。</p> <p>●基本方針 ①正確迅速な会計事務を行います。 ②安全かつ有効な資金運用を図ります。</p>	所管課  出納室			
		人 員	正職員 4人	臨時職員 人	合計 4人
		一般会計	29,505 千円		
		特別会計	千円		
		計	29,505 千円		
		(うち人件費)	( 26,537 千円)		

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
1	正確な会計事務を行いつつ、業務改善を図ります。	正確で適正な事務処理を行うため、会計事務担当者への指導強化に努めるとともに、効率的な事務処理方法の研究を行います。	会計事務の説明会を、職員研修として実施します。前年度に引き続き「会計事務の手引き」並びに「Q&A」の内容の充実を図ります。	8月21日に会計事務説明会を開きました。「Q&A」の改定を行いました	8月21日に会計事務説明会を開きました。「Q&A」の改定を行いました。効率的な事務処理方法の研究に取り組んでいます。	年度末会計処理の注意事項を通知し遺漏のないよう周知を図った。

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	有効な資金運用を行います。	市場調査や情報収集に努め、安全かつ有効な資金運用に努めます。	市場状況に基づいた有効な資金運用を行います。	9月末において、62,153,201円の運用益を得ました。	1月末において、71,396,529円の運用益を得ました。	3月末において、82,323,683円の運用益を得ました。
3	公会計制度知識習得へ取組みます。	公会計制度の理解・知識の習得に努め審査等に活用できるように努めます。	研修等の機会を利用し、公会計制度の基礎知識習得をします。	公会計制度研修へ11月に参加予定です。	11月に公会計制度研修に参加しました。	11月に公会計制度研修に参加しました。審査に活用しつつ、知識の習得を続けています。

# 平成31年度 教育委員会 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
<p style="text-align: center;">教育次長 藪井 慎吾</p> 	<p><b>●使命</b>                      私たち教育委員会は、市長と教育委員会で構成する総合教育会議において、平成27年11月に策定された「瀬戸内市教育大綱」の五つの重点施策を柱とし、瀬戸内市の教育の一層の充実に向け、諸施策を実施します。</p> <p><b>●基本方針</b>                      重点1 「確かな学力、豊かな心、健やかな体の子どもの育成」                      重点2 「子育て・保育・教育を通して子どもの成長を社会総がかりで支援」                      重点3 「生涯にわたり学びあう市民への効果的支援」                      重点4 「健康で活力に満ちた地域社会の形成」                      重点5 「歴史・文化の保存・継承と活用の推進」                      以上、五つの重点施策の推進に当たっては、教育が未来を担う人材を育成する基盤であるとの認識に立ち、関係機関と連携を図りながら、市民の期待に応えるよう教育行政を推進していきます。</p>	所管課	総務学務課・社会教育課・公民館 図書館・学校給食調理場		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			71人	171人	242人
		一般会計	2,319,294 千円		
		特別会計	千円		
		計	2,319,294 千円		
(うち人件費)	(506,619 千円)				

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
1 魅力ある学校施設の整備と学習環境の改善を図ります。	<p>学校施設整備 老朽化が進み、大規模改造や老朽改修が必要となっている学校が多くなっているため、緊急性に応じて計画的に実施します。さらに、学校施設長寿命化計画に基づき、バリアフリー化や省エネルギー化等も含めた施設整備を推進します。</p>	<p>邑久小学校の便所棟改修工事、プール改修工事、牛窓西小学校の特別教室棟防水改修工事など、学校施設の整備を年度内に計画的に実施します。また、学校施設内にある安全性に問題のあるブロック塀をすべて改修します。</p> <p>平成29年より行っている各教室へのエアコン整備を引き続き行います。今年度は、邑久小学校、今城小学校、美和小学校、国府小学校及び行幸小学校において実施し、8月末までに普通教室の空調整備率を100%にします。</p> <p>行幸小学校校舎大規模改造、牛窓東幼稚園園舎大規模改造を実施するため、仮設校舎、仮設園舎を12月までに整備します。</p>	<p>邑久小学校の便所棟改修工事を8月末に終え、新しく5台の洋式便器が設置されました。また、牛窓東小学校、美和小学校、牛窓西幼稚園、牛窓北幼稚園、今城幼稚園のブロック塀改修を終えました。現在、邑久小学校のブロック塀を改修しているところです。</p> <p>エアコンの整備については、夏季休業期間を中心に工事を行い、9月17日に普通教室の空調整備率が100%となりました。</p> <p>行幸小学校校舎大規模改造、牛窓東幼稚園園舎大規模改造は、仮設校舎、仮設園舎の賃貸借契約を締結しました。</p>	<p>邑久小学校のブロック塀改修工事を10月末に終えました。現在は、邑久小学校のプール改修工事と牛窓西小学校の特別教室棟防水改修工事を順次施工しているところです。</p> <p>行幸小学校、牛窓東幼稚園の仮設校舎、仮設園舎の設置を12月末に終え、3学期より授業などへの利用を開始しました。</p>	<p>邑久小学校のプール改修工事と牛窓西小学校の特別教室棟防水改修工事を3月末までに終え、今年度予定していたすべての工事を終えました。</p> <p>エアコンの整備と行幸小学校、牛窓東幼稚園の仮設校舎等の設置については、予定どおり実施しました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
<p>児童生徒に安全で安心な給食を提供し、食育を推進します。</p>	<p>調理等業務の委託 長船学校給食調理場の調理・配送・洗浄業務を民間事業者へ委託します。</p>	<p>2学期から学校給食の調理等業務を委託により実施するため、6月に業者を決定し、準備を進めます。 最低必要調理員数を確保するとともに、衛生管理・安全管理の徹底を図ります。</p>	<p>8月1日から民間事業者者に調理等業務を委託し、1か月の準備期間ののち、9月2日から各学校園に給食を調理し提供しています。 調理員数については市直営時より多く配置できており、今までどおりのおいしくて安全な給食の提供ができています。</p>	<p>長船学校給食調理場の受配校の教職員・児童生徒に給食アンケートを実施しました。 給食について、「いつもおいしい」「おいしいことが多い」「普通」の回答は90%を超えており、直営のときと同じく、おいしい給食が提供できているという結果となりました。 調理員については、市が期待する人数となっていない状況です。事業者に対し、早急な人員配置を依頼しています。</p>	<p>長船学校給食調理場の調理等の業務委託を実施し、給食の提供を行うことができました。 調理員については、事業者に対し、来年度に向けて引き続き人員配置を依頼しています。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	<p>関係部局・関係機関と連携しながら就学前から義務教育まで、個々の子どもの状況を把握して、必要とされる資質や能力を育みます。</p> <p>保幼小中の連携の強化 ・保幼小中の連携を密に行い、個々の子どもの課題や状況を把握した指導・支援を継続して行います。</p> <p>特別支援教育の充実 ・様々な支援が必要な子どもたちに対応するため、特別支援教育に基づいた授業改善と生徒指導を行います。</p> <p>学力向上のための事業の充実 ・学校力向上事業や学力向上プロジェクトチームの活用、教職員研修の充実によって、子どもたちに必要な力を育みます。</p> <p>地域学校協働活動の推進 ・各小・中学校に設置している協働本部で取り組んでいる地域学校協働活動を継続して推進するとともに、実施体制の強化を図ります。</p>	<p>・不登校の出現率を小学校で0.1、中学校で2.2以下にします。</p> <p>・学校園種を超えた研修、授業公開を年間5回以上行い、子どもへのよりよい関わりができるようにします。</p> <p>・自己肯定感をもち、高い学習意欲をもった児童生徒を8割以上にします。</p> <p>・恒常的に8割以上の児童生徒が、自分で計画を立てて家庭学習に取り組み、学習内容がわかる、できると感じている状況を継続します。</p> <p>・活動のキーパーソンとなる地域学校協働活動推進員のスキルアップを図るため、情報交換会や研修会を開催します。</p>	<p>・9月末現在の不登校の出現率は、小学校0.4、中学校で3.9です。</p> <p>・特別支援教育や道徳についての研修を4回実施しました。</p> <p>・自己肯定感をもち児童は約8割、生徒は約7割です。</p> <p>・計画的な家庭学習は小学生の約8割、中学生の約6割が実施し、授業の内容理解は小学生の約9割、中学生の約7割が肯定的な回答をしました。</p> <p>・5月に地域学校協働活動推進員協議会を開催し情報交換を行いました。また、6月に県教委が主催したレベルアップ講座に6名が参加しました。</p>	<p>・1月末現在の不登校の出現率は、小学校0.6、中学校で5.1です。</p> <p>・特別支援教育や道徳についての研修を5回実施しました。各学校園での取組を共有しています。</p> <p>・自己肯定感をもち児童は約8割、生徒は約7割です。9割の児童生徒が教員から承認されていると回答しています。</p> <p>・計画的な家庭学習の実施率は小学6年生が約75%で、学年が上がるにつれて減少して中学3年生では約50%になっています。</p> <p>・1月に1地域教育協議会で研修会を実施しました。また、先進地の現場で活躍されている方を講師にお招きした研修会を2月に開催するための準備を進めています。</p>	<p>・3月末現在の不登校の出現率は、小学校0.6、中学校で5.3です。小学校の登校支援員配置校では、新たな不登校の出現を抑制することができました。</p> <p>・学校園種を超えた研修や授業公開の実施が就学前から義務教育修了までを見通した教育活動につながっています。</p> <p>・抽出校において、授業の内容理解について小学生の約90%、中学生の約80%が肯定的な回答をしました。</p> <p>・2月に開催を予定していた研修会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため止む無く延期となりました。次年度の上半期中には開催できるように再調整します。</p>

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
	<p>・放課後や土曜日における子どもたちの学習機会の充実を図ります。</p>	<p>・裳掛小学校区において、放課後子ども教室を開設します。また、月に1回程度、土曜学習を実施します。</p>	<p>・裳掛小学校区において、放課後子ども教室を毎週水曜日と木曜日に実施しています。また、「もかけ自然体験会」と題して土曜学習事業を月1回実施しています。</p>	<p>・放課後子ども教室、土曜学習事業ともに、大きなトラブルなく計画通りに事業を進めています。</p>	<p>・放課後子ども教室は年間64回、土曜学習は年間9回、大きなトラブルもなく実施できました。</p>
3	<p>生涯学習機会の更なる充実を図るため、市民の学習ニーズを把握しながら、社会教育施設がそれぞれ機能を高めるとともに連携を図り、事業を推進します。</p> <p>「瀬戸内市立図書館サービス計画」に沿って、多くの市民が利用できる図書館サービスの充実を図ります。</p> <p>「第2次瀬戸内市子ども読書活動推進計画」に沿って、子どもの読書活動推進を図り、図書館の子育て支援サービスにもつなげます。</p> <p>認知症対策を含めた高齢者サービスと障害者サービスの推進を図ります。</p> <p>地域郷土学習事業の推進を図ります。</p>	<p>全館の登録率47%、実利用率を18%、貸出冊数を約334,000冊(住民1人当たり貸出冊数を9冊)、市民図書館の来館者数を190,000人とします。</p> <p>市民向けの絵本講座や保育職向けの絵本と発達に関する学習会を各3回開催します。また、子育て支援課や健康づくり推進課との連携事業を2回実施します。</p> <p>認知症や前期高齢者向け講座を2回開催します。また、音訳CDに点字装備を施します。</p> <p>郷土資料企画展のギャリートークを年4回、歴史文化講座を4回実施します。</p>	<p>全館の登録率49.7%、貸出冊数166,207冊(住民1人当たり4.5冊)、市民図書館の来館者数94,376人となっています。</p> <p>市民向け絵本講座を1回、子育て支援センターとの連携で「ママカフェ」を4回実施しました。</p> <p>地域包括支援センターとの連携で認知症カフェを1回実施しました。</p> <p>ギャリートークを3回、友の会との連携で歴史・文化財講座を8回実施しました。</p>	<p>全館の登録率50.7%、貸出冊数268,921冊(住民1人当たり7.3冊)、市民図書館の来館者数149,466人となっています。</p> <p>市民向け絵本講座を1回、子育て支援センターとの連携で「ママカフェ」を5回実施しました。</p> <p>地域包括支援センターとの連携で認知症カフェを1回実施しました。</p> <p>ギャリートークを4回、友の会との連携で歴史・文化財講座を11回実施しました。</p>	<p>全館の登録率51.2%、実利用率17.4%、貸出冊数321,117冊(住民1人当たり8.6冊)、市民図書館の来館者数176,067人となりました。</p> <p>市民向け絵本講座を1回、子育て支援センターとの連携で「ママカフェ」を5回実施しました。</p> <p>地域包括支援センターとの連携で認知症カフェを1回、独自に音読教室を1回実施しました。</p> <p>ギャリートークを4回、友の会との連携で歴史・文化財講座を13回実施しました。</p>



重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
	<p>夢二のふるさと芸術交流プロジェクト3年目は、夢二コンクールなどをゆめトピア長船を拠点に委託事業として実施します。また、市民視点での企画や市民参加のコンサートなどは実行委員会主催事業として中央公民館で実施します。</p> <p>中央公民館、牛窓町公民館、長船町公民館の地域の特色を活かした文化芸術の地域資源を内外に情報発信します。また、多様な学習の機会を提供し、事業を実施します。</p>	<p>市の委託事業として夢二コンクール及びプレミアムコンサートなどを実施します。参加人数3,800人を目指します。</p> <p>実行委員会を中心に市民視点での企画やコンサートなどを実施します。参加人数3,000人を目指します。</p> <p>菊づくり講座など公民館主催事業を実施します。参加人数30,000人を目指します。地域資源を生かした海岸生物の現状調査の主催講座などを新たに立ち上げ、参加人数20人を目指します。</p>	<p>コンクール周知のためのプレミアムコンサートやスクールコンサート、市民企画のコンサートやイベントを実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレミアムコンサート3回 参加者955人</li> <li>・スクールコンサート14回参加人数報告待ち</li> <li>・市民企画コンサート5回 参加者1,480人</li> </ul> <p>公民館主催事業を順次実施しています。また、新たに異文化交流事業や御朱印帳づくりの講座を企画し、実施しました。7月31日には牛窓の筵江海岸で海岸生物の観察会を実施しました(参加者26人)。</p>	<p>12月1日に第3回夢二コンクール予選を開催しました。当初の応募者は25名でしたが、台風により延期となったため、20名の出場となりました。課題曲、自由曲それぞれ1曲ずつを歌い上げ、10名が本選に進出されました。</p> <p>コンクール周知のための3回目のプレミアムコンサートは420人の参加がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールコンサート25公演 参加者数2,373人</li> <li>・市民企画コンサート13回 参加者5,160人</li> </ul> <p>牛窓筵江海岸の海岸生物の生息状況の観察を記録した。本年を基準に次年度の調査につながる観察会ができた。</p> <p>10月20日～11月17日に第33回備前長船菊花展を開催し、菊づくり講座生も出品し1年の成</p>	<p>2月2日に第3回夢二コンクール本選を開催しました。10名が出場し、課題曲1曲と自由曲を12分間で歌い上げました。第1位の三木麻衣子さんは聴衆者賞も合わせて受賞されました。</p> <p>実行委員会主催事業では、せとうち市民ミュージカルなど市民の提案事業が実施されました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で2事業が中止となりましたがプロジェクト全体では過去最多となる9,313人の参加人数になり、目標数値を達成しました。</p> <p>市民と日本 IT ビジネスカレッジの交流会を軽音楽器(ドラム)体験講座と合同開催しました。公民館の利用が少ない市内の青年層と外国人学生が演奏や音楽を通して、交流を深める機会となりました。(参加者17人)公民館主催事業の参</p>


重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
	<p>図書館との連携事業では、公民館や図書館に来館された市民が気軽に参加することができる事業を実施します。また、郷土資料などのものを図書館及び中央公民館で展示します。</p> <p>美術館との連携事業では、研修室で日本画教室を実施するとともに企画展の対話型鑑賞会も実施しま</p>	<p>オリーブの庭を利用した音楽コンサートや星の観察などの事業を年 1 回実施します。</p> <p>郷土資料や地域の話題に関する展示を年 2 回実施します。</p> <p>美術館と連携した日本画教室の参加人数30人を目指します。</p>	<p>7月13日に中央公民館ロビーで竹久夢二星空ゆかたファッションショーを実施しました（参加者180人）。オリーブの庭で星の観察を行う予定でしたが、雨天のため中止となりました。</p> <p>6月11日～8月18日に京橋船航路復刻記念写真展を各公民館のロビーで実施しました。また、7月から約2か月間、中央公民館1階ロビー展示ケースで喜之助の人形を展示しました。</p> <p>8月28日に日本画講座を実施しました（参加者18人）。ま</p>	<p>果を発表しました。11月14日に公民館初の夜の料理講座を実施したところ、定員を超えるほどの申し込みがあり好評でした（参加者18人）。</p> <p>10月27日の文化祭でせとうち子ども合唱団ティンカーベルによるオリーブの庭を使った野外ステージがあり、文化祭を盛り上げました。</p> <p>12月中旬から中央公民館1階ロビー展示ケースで空から見た中央公民館周辺の写真を展示しました。（写真データ提供：写真家 島隆諦氏）</p> <p>10月25日に牛窓東幼稚園で日本画体験講座を実施しまし</p>	<p>加人数は 27,574 人でした。</p> <p>6月25日の長船町公民館主催事業、うさぎの学校（未就園児親子対象）の終了後に移動図書館せとうちまーる号に来てもらいました。7組の親子が移動図書館や絵本に親しむことができました。</p> <p>喜之助フェスティバルで初披露となった巨大糸あやつり人形「喜いぼう」を図書館と公民館で公開展示しました。</p> <p>3月1日に予定していた日本画講座は新型コロナウイルス感</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
	<p>す。</p> <p>地域の身近な課題を解決するための事業を関係部署と連携して実施します。</p>	<p>関係部署と連携して空き家対策講演会などを年1回実施します。</p>	<p>た、日本画体験後、美術館長の解説で企画展を見学し、理解を深めることができました。</p> <p>9月13日の高齢者学級で不動産の活用方法や、空き家、相続問題に関する講演を実施しました（参加者79人）。</p>	<p>た（参加者26人）。1月4日～15日の間、岡山天満屋で開催された院展会場前に作品を展示していただきました。</p> <p>3月に実施予定の認知症サポーター養成講座に向けての準備を進めました。</p>	<p>染拡大の影響で中止となりました。次年度も子どもから一般まで日本画に親しむことができる講座を継続します。</p> <p>3月7日の認知症サポーター養成講座は中止となりましたが、各区長や地域包括支援センターと連携を確認しました。</p>
4	<p>市民の健康づくりや体力づくりのため、市民が生涯にわたってスポーツに親しむことができるよう、活動の場所と機会の提供を行います。</p> <p>牛窓グラウンドトイレ改修工事 男女共用で和式の汲み取り型のトイレは、老朽化が著しく、衛生面も悪いことが現状であることから、改修工事を実施します。</p> <p>牛窓体育館耐震診断業務 平成30年10月に体育館のひさしの部分のコンクリートがはがれ落ちたことから、利用中止となって</p>	<p>子ども広場の利用・事業計画及び基本設計を10月末までに完成させ、整備に向けた協議を進めます。</p> <p>改修後は、洋式で簡易水洗型にし、衛生面を向上させるとともに、スロープの設置によるバリアフリー化を図り、グラウンドの利便性を向上させます。</p> <p>耐震診断調査及び耐震補強計画案（構造実施設計は含まない）を作成するとともに、防水・屋根葺き材・外壁の調</p>	<p>関係部局や利用者、計7回の協議を行い、基本設計を10月末までに完成するよう進めています。</p> <p>4月に入札を行い、6月に設計業者と契約した。関係者との協議により、合併浄化槽型のトイレを整備する方向で、9月末に設計が完了しました。</p> <p>5月に入札を行い、7月に委託業者と契約し、調査を実施した。解体及び改修すると</p>	<p>令和2年度の実施設計に向けた予算要求を行うとともに、関係機関からの情報収集を進めています。</p> <p>12月に監理および工事の入札を行いました。令和2年度の繰越工事で、6月までの完成を目指し今後の契約業者と協議を進めます。</p> <p>10月に解体及び改修にかかる概算工事費用を算出しました。12月に建築物耐震診</p>	<p>令和2年度の実施設計に向け、予備指名入札の準備を行いました。</p> <p>2月に工事監理委託および工事請負業者との契約を締結し、工事に着手しました。</p> <p>3月に本業務の成果品が完成しました。この結果を基に、来年度早期に改修また</p>

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
	<p>いる牛窓体育館について、安全性の確保を目的に、外観調査、コンクリート強度調査等を実施し、耐震安全性について診断します。また、診断結果を踏まえ、今後について検討します。</p>	<p>査、また、解体するとした場合の解体工事費用の算出を行います。</p>	<p>した場合のそれぞれの概算工事費用の算出を実施中であり、12月に岡山県の建築物耐震診断等評価委員会から結果を受け、これを基に方針を決定します。</p>	<p>断評価委員会の評価を受け、その結果から今後の方針を検討します。</p>	<p>は解体の方針を検討します。</p>
5	<p>古くから継承されてきた歴史遺産や伝統文化を保護、保存し、次の世代へ継承します。また、伝統文化や芸術にふれながら学習する機会の提供を行います。</p> <p>美術館では優れた美術作品に触れてもらう特別展、美術を楽しめるような企画展を開催し、美術をより身近なものとなるよう目指します。</p> <p>博物館では刀剣への興味を持たせ事業や体験講座を開催し理解を深めさせます。また、博物館施設及び周辺整備等の将来構想を策定します。</p>	<p>調査委員会において委員及び現地調査員による行事の補足調査を実施し、報告書の執筆・刊行を行います。</p> <p>美術館は、佐竹徳の常設展のほか、写実画で有名なホキ美術館コレクション展を中心とした特別展を3本、郷土作家である東原方僊、瀬戸内市ゆかりの新進作家である隠崎麗奈、炭田紗季の企画展、また、子どもが参加・企画する美術展などを実施します。目標入館者数：20,000人</p> <p>備前長船刀剣の里まつりを実施します。小刀製作講座を年間23回開催します。目標入館者数：44,000人 博物館は、夏季特別展「関の刀と備前刀（仮）」と、秋季</p>	<p>9月に調査委員会を実施し報告書原稿の執筆担当の確認や原稿量の報告等の指示をしました。</p> <p>美術巨匠逸品展ほか6本の企画展を開催 9月末の入館者数：8,852人</p> <p>企画展である夏季特別展「備前刀×美濃刀」と、テーマ展を開催 夏季特別展では、来館者数は7,280人。</p>	<p>12月に調査委員会を実施。報告書原稿を印刷業者に入稿しました。</p> <p>特別展として驚愕の超写実展ほか7本の企画展を開催 驚愕の超写実展での来館者数は10,979人 1月末の入館者数：22,987人</p> <p>企画展である秋季特別展「一文字と長船」と、テーマ展を開催 秋季特別展では、来館者数は11,052人。 この秋季特別展に合</p>	<p>3月末に報告書を刊行しました。</p> <p>本年度は特別展3本、企画展7本の計10本の展覧会を開催しました。入館者数は24,271人となりました。</p> <p>本年度はテーマ展3回、企画展2回の計5回行いました。小刀製作講座を年間22回開催しました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
	<p>国宝「山鳥毛」購入活用に係る基本計画を策定し、山鳥毛里帰りプロジェクトを推進します。</p>	<p>山鳥毛里帰りプロジェクト基本方針に基づき、国宝「山鳥毛」の活用施策や備前長船刀剣博物館の改修案を取りまとめた基本計画を8月末までに策定します。</p>	<p>9月末の入館者数：21,804人（4月頭の前年度企画展を含む）</p> <p>博物館の改修基本計画については、公開承認施設となるよう文化庁との協議を重ねたため9月末に策定しました。活用施策については、サポーターミーティングやプロジェクト会議で意見を徴するとともに活用アイデアを募集するコンテストを開催中。このため、基本計画の策定が遅れています。</p>	<p>わけて開催した山鳥毛特別陳列には5,541人が来館。1月末の入館者数：38,577人（4月頭の前年度企画展を含む）</p> <p>10月と1月にプロジェクト会議を開催しました。10月には備前長船刀剣博物館にて山鳥毛特別陳列を開催し、11月には講演会を開催、またイベント等でPRするなど山鳥毛里帰りの意義や取組の普及・啓発を図りました。また、関係各課やプロジェクト会議で活用基本計画の協議を行い策定に向けて進めています。</p>	<p>入館者数は、43,753人となりました。</p> <p>関係各課やプロジェクト会議委員等と協議を行い、活用基本計画を3月末に策定しました。</p>

## 平成31年度 議会事務局 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
議会事務局長 松尾 雅行	<p><b>●使命</b> 議会事務局は、議会運営・議会活動・政策立案機能の支援や議会と執行機関との調整、議会と市民との媒介といった役割を担うとともに、議会の情報を様々な媒体を活用して、市民に対して迅速で正確、そしてわかりやすく伝えていくことが私たちの使命です。</p> <p><b>●基本方針</b></p> <p>①議事機関である議会の運営に関し、議員に質の高い職務環境を提供することによって、市民に良質な行政サービスの提供がなされるよう議員の議会活動を支援します。</p> <p>②ホームページや議会だより、議会ネット配信システム等により、議会活動情報等を積極的に公開し、「市民が身近に感じることのできる議会」「開かれた議会」を推進します。</p> <p>③円滑で秩序ある議会運営のために、事務局機能の充実・強化を図り、議会からの要請などの確に対応できる体制づくりに努めます。</p>	所管課	議会事務局		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			4人	1人	5人
		一般会計	181,891 千円		
		特別会計	千円		
		計	181,891 千円		
(うち人件費)	( 35,019 千円)				

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
1	円滑で効率的な議会運営や政策立案等の様々な議会活動の支援	調査機能や法務機能の充実を図り、議会運営、議会活動を支援します。	適切な情報提供を適時に行えるよう、調査情報、政策、法務部門を充実強化します。	議会定例会（6月、8月）、各常任委員会及び特別委員会等が開催され、随時必要な情報を提供することで、円滑な運営のための支援を行いました。	議会定例会（6月、8月、11月定例会）、10月臨時会、各常任委員会及び特別委員会等が開催され、随時必要な情報を提供し、円滑な運営のための支援を行いました。	議会定例会（6月、8月、11月、2月）、臨時会（10月、3月）、各常任委員会及び特別委員会等が開催され、随時必要な情報を提供し、円滑な運営のための支援ができました。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	議会活動の紹介	議会だより発行や議会報告会開催の支援を行うとともに、議会ホームページを適時更新します。	議会だより（年4回、市内全世帯配布）発行の編集補助をするとともに議会報告会の開催の支援を行います。 また、議会ホームページを適時更新します。	議会だよりは、令和第1号となる58号を5月1日に、59号を9月1日に発行し、現在11月1日発行となる60号の編集作業をしています。 また、議会ホームページを適時更新しています。	議会だよりは、令和第1号となる58号を5月1日に、59号を9月1日に、60号を11月1日に、61号を2月1日（校了は1月中旬）に発行しています。 また、議会ホームページを適時更新しています。
3	市民にわかりやすく開かれた議会への取り組みの支援	議会ネット配信システム（ライブ中継及び録画配信）へのアクセスや議会傍聴への呼びかけを積極的に行い、市民に身近な議会を目指します。	スムーズなインターネット配信（ライブ中継及び録画配信）を行うとともに、マスメディアを通じて議会情報を発信し、議会傍聴者、インターネット閲覧者など議会と市民をつなぐ場への参加者の増加を目指します。	定例会のインターネット中継については、概ね順調に配信することができています。 6月、8月議会本会議の傍聴者の合計は39人でした。	11月1日発行の議会だより60号から、スマートフォンで各議員の一般質問を閲覧できるサービスを始めました。 6月定例会から3月臨時会までの議会本会議傍聴者の合計は121人でした。 また、議会インターネット配信の年間アクセス数は、ライブ中継6,058件、録画2,840件でした。
4	事務局職員の育成・体制強化	社会情勢の変革など様々な状況に対応できる事務局をめざし、各種職員研修会や先進地視察研修をとおして、事務局職員の能力向上を図ります。	市や研修センターが行う職員研修、市町村アカデミー研修、あるいは議長会主催の議事研修会等に積極的に参加して、事務局職員のスキルアップを図ります。	7月の市議会事務局職員研修（新見市）に職員2名が参加し、能力向上に努めました。	7月の市議会事務局職員研修（新見市）に職員2名が参加し、能力向上に努めました。